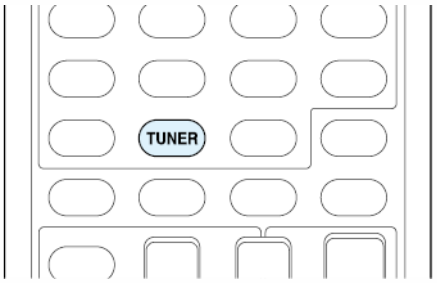
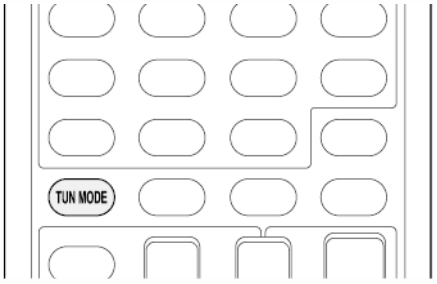
放送局を選局する

■ 自動で選局する

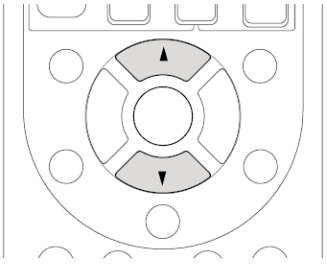
1. リモコンのTUNERボタンをくり返し押して、「AM」または「FM」を選びます。



2. TUN MODEボタンを押して、表示部の「AUTO」を点灯させます。



3. カーソル▲/▼ボタンを押して、自動選局を始めます。
   - 本体の▼TUNING▲ボタンを押して自動選局を始めることもできます。
   - 放送局が見つかると選局は自動的に停止し、放送局を受信すると、表示部の「►TUNED◄」が点灯します。FMステレオ放送を受信した場合は、「FM STEREO」が点灯します。
   - 「►TUNED◄」が消灯している間は、音が出ません。

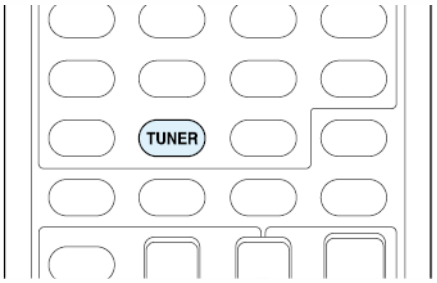


FM放送を受信しにくいときは：建物の構造や周囲の環境によって電波状況が異なり受信状態が悪くなることがあります。その場合、次項の「手動で選

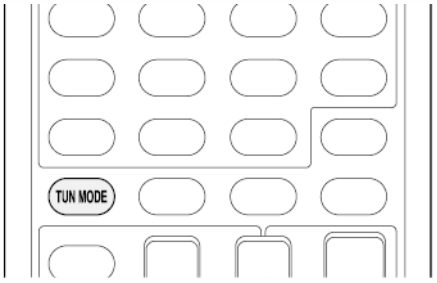
局する」を参照しながら、ご希望の放送局に応じて手動で選局してください。

■ 手動で選局する

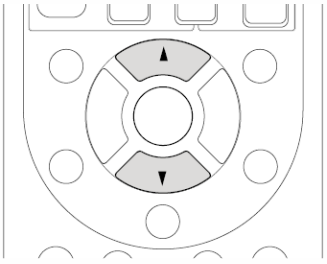
1. リモコンのTUNERボタンをくり返し押して、「AM」または「FM」を選びます。



2. TUN MODEボタンを押して、表示部の「AUTO」を消灯させます。



3. カーソル▲/▼ボタンを押しながら、聴きたい放送局を選びます。
   - 本体の▼TUNING▲ボタンを押して選ぶこともできます。
   - ボタンを押すごとに周波数が1ステップずつ変わります。ボタンを押し続けると、連続して周波数が変わり、離すと止まります。表示部を見ながら周波数を合わせてください。



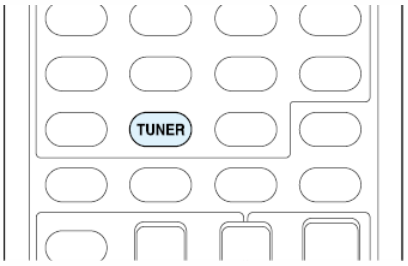
自動で選局する方法に戻す：リモコンのTUN MODEボタンを再度押すと、自動的に放送局を受信します。通常は、「AUTO」表示にしておいてください。

■ 周波数を直接入力する

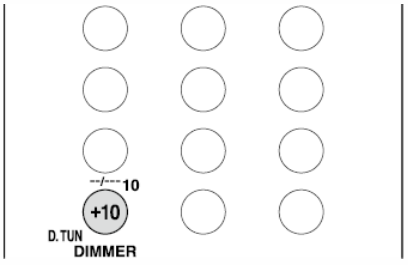
お聴きになりたい放送局の周波数を直接入力する操作方法です。

1. リモコンのTUNERボタンをくり返し押して、「AM」または「FM」を選

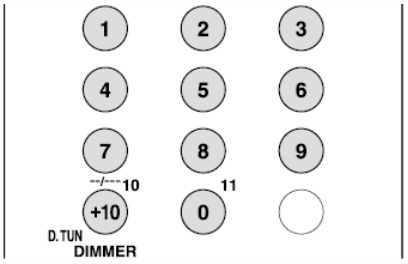
びます。



2. D.TUNボタンを押します。



3. 数字ボタンで、8秒以内に放送局の周波数を入力します。
   - たとえば、87.5（FM）を入力する場合、8、7、5と押します。間違った番号を入力した場合、D.TUNボタンを押すと、再入力できます。

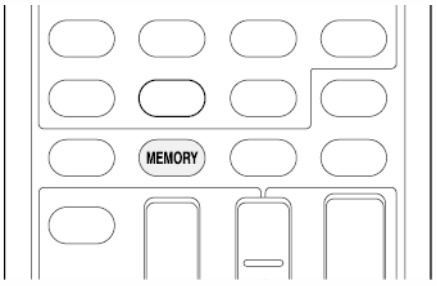


放送局を登録する

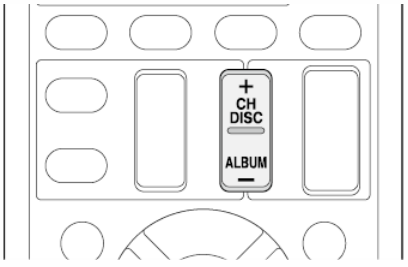
お好きなAM/FM放送局を最大40局まで登録できます。放送局をあらかじめ登録しておけば、周波数で合わせなくても、すばやく選局できます。

■ 登録する

1. 登録したいAM/FM放送局を受信します。
2. リモコンのMEMORYボタンを押して、表示部のプリセット番号を点滅させます。



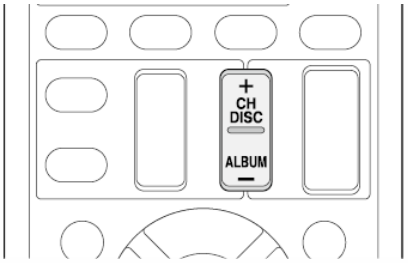
3. プリセット番号が点滅している間（約8秒間）に、CH +/−ボタンをくり返し押して1～40の間で番号を選びます。
   - 本体の◄PRESET►ボタンを押して選ぶこともできます。



4. 再度MEMORYボタンを押して登録します。
   - 登録すると、プリセット番号の点滅が止まります。
   - この手順をくり返して、お好きなAM/FM放送局を登録してください。

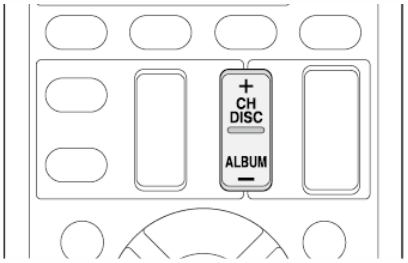
■ 登録したプリセット局を選ぶ

1. リモコンのCH +/−ボタンを押して、プリセット番号を選びます。
   - 本体の◄PRESET►ボタンを押して選ぶこともできます。また、リモコンの数字ボタンで直接プリセット番号を入力して選ぶこともできます。

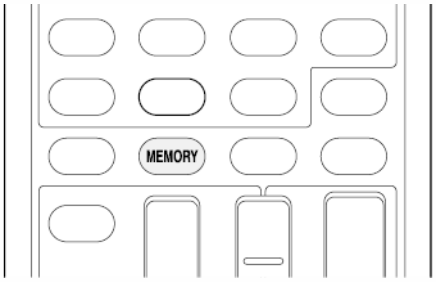


■ 登録したプリセット局を削除する

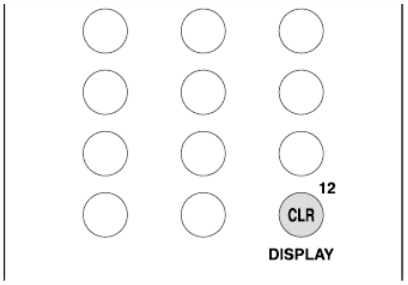
1. リモコンのCH +/–ボタンを押して、削除したいプリセット番号を選びます。



2. MEMORYボタンを押して、表示部のプリセット番号を点滅させます。



3. プリセット番号が点滅している間（約8秒間）に、CLRボタンを押して、プリセット番号を削除します。
   - 削除されたら、表示部から番号が消えます。



リモコン操作の概要

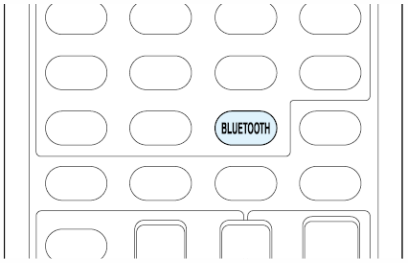
本機のリモコンを使って、Bluetooth対応機器に保存された音楽ファイルを再生することができます。

- Bluetooth対応機器がAVRCPプロファイルに対応している必要があります。機器によってはAVRCPプロファイルに対応していても操作できない場合があります。

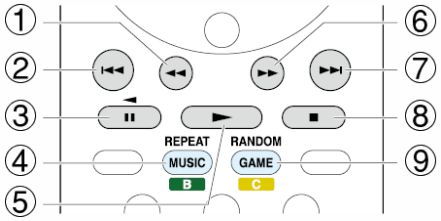
音楽ファイルをリモコンで操作する

リモコンボタンの働き

1. リモコンのBLUETOOTHボタンを押します。



2. 次の各ボタンの名称とはたらきを参照して、リモコンで操作します。

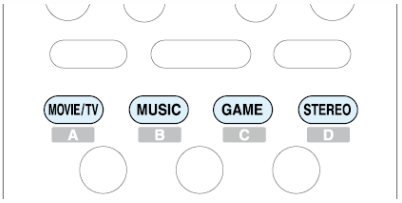


① **◀◀ボタン**：現在の曲を早戻しします。
② **I◀◀ボタン**：現在の曲の先頭を再生します。前の曲を再生するには、2回押します。
③ **❚❚ボタン**：一時停止します。
④ **REPEATボタン**：リピート再生します。このボタンを押すたびにリピートモードが切り換わります。
⑤ **►ボタン**：再生を開始します。
⑥ **▶▶ボタン**：現在の曲を早送りします。
⑦ **▶▶Iボタン**：次の曲を再生します。
⑧ **■ボタン**：再生を停止します。
⑨ **RANDOMボタン**：ランダム再生します。

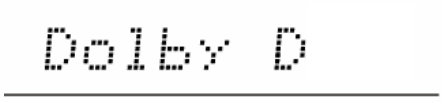
リスニングモードの選びかた

リスニングモードを使うと、入力ソースに最適な音響効果を選ぶことができます。

1. リモコンのRECEIVERボタンを押してから、以下の4種類のボタンのいずれかを押します。



2. 選んだボタンをくり返し押して、本体表示部に表示されるモードを切り換えます。
   - 実際に音を出しながらモードを切り換えて、お好みのモードに合わせてください。



各リスニングモードの内容については「リスニングモードの種類」を、各ボタンで選択できるリスニングモードについては「選択できるリスニングモード」をご参照ください。

リスニングモードの種類

アルファベット（ABC）順

AAC

AACで収録されたソースの再生に適したモードです。
- 地上デジタル、BS/CS放送などのAACソースの再生時に選んでください。

Action

テレビからジャンル情報を受信した場合に、Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定していると、自動的に選択されます。アニメ/特撮系のテレビ番組に適したモードです。
- テレビがジャンル情報の出力に対応している場合のみ選択できます。

AllCh Stereo

BGMとして音楽を流すときに適したモードです。フロントだけでなくサラウンドからもステレオ音声を再生し、ステレオイメージを作ります。

Direct

入力された信号がそのまま再生されるモードです。たとえば音楽CDの2ch信号が入力されればステレオで、Dolby Digital信号が入力されればそのチャンネル数に応じた音場で再生されます。

Dolby D (Dolby Digital)

Dolby Digitalで収録されたソースの再生に適したモードです。
- ブルーレイディスク/DVDプレーヤーがデジタル接続されていない場合やプレーヤー側の出力設定をビットストリームにしていない場合は、このリスニングモードは選べません。

Dolby D＋ (Dolby Digital Plus)

Dolby Digital Plusで収録されたソースの再生に適したモードです。
- ブルーレイディスク/DVDプレーヤーがデジタル接続されていない場合や

プレーヤー側の出力設定をビットストリームにしていない場合は、このリスニングモードは選べません。

Dolby Pro Logic Ⅱ

2チャンネルで収録されたソースを、マルチチャンネルサラウンドの5.1チャンネルで再生するモードです。明瞭なサウンドはそのままで、自然でなめらかに再生されます。CDや映画に加えて、ゲームソフトの再生も、鮮明な音像定位などが得られます。

- **PLⅡ Movie** : 2チャンネルの映画を鑑賞するときに選んでください。
- **PLⅡ Music** : 2チャンネルの音楽を聴くときに選んでください。
- **PLⅡ Game** : 2チャンネルのゲームを楽しむときに選んでください。

Dolby TrueHD

Dolby TrueHDで収録されたソースの再生に適したモードです。

- ブルーレイディスク/DVDプレーヤーがデジタル接続されていない場合やプレーヤー側の出力設定をビットストリームにしていない場合は、このリスニングモードは選べません。

DSD

DSDで収録されたソースの再生に適したモードです。

- 本機はHDMI入力端子からのDSD信号入力に対応していますが、接続するプレーヤーによっては、プレーヤー側の出力設定をPCM出力に設定した方がよい音声を得られる場合があります。
- ブルーレイディスク/DVDプレーヤー側の出力設定をDSDにしていない場合は、このリスニングモードは選べません。

DTS

DTSで収録されたソースの再生に適したモードです。

- ブルーレイディスク/DVDプレーヤーがデジタル接続されていない場合やプレーヤー側の出力設定をビットストリームにしていない場合は、このリスニングモードは選べません。

DTS 96/24

DTS 96/24で収録されたソースの再生に適したモードです。96kHzのサンプリングレートと24ビットの解像度を使ってきめ細やかな再現性を実現します。

- 本機の設定によってはDTSになります。
- ブルーレイディスク/DVDプレーヤーがデジタル接続されていない場合やプレーヤー側の出力設定をビットストリームにしていない場合は、このリスニングモードは選べません。

DTS Express

DTS Expressで収録されたソースの再生に適したモードです。

- ブルーレイディスク/DVDプレーヤーがデジタル接続されていない場合やプレーヤー側の出力設定をビットストリームにしていない場合は、このリスニングモードは選べません。

DTS-HD HR (DTS-HD High Resolution)

DTS-HD High Resolution Audioで収録されたソースの再生に適したモードです。

- ブルーレイディスク/DVDプレーヤーがデジタル接続されていない場合やプレーヤー側の出力設定をビットストリームにしていない場合は、このリスニングモードは選べません。

DTS-HD MSTR (DTS-HD Master Audio)

DTS-HD Master Audioで収録されたソースの再生に適したモードです。

- ブルーレイディスク/DVDプレーヤーがデジタル接続されていない場合やプレーヤー側の出力設定をビットストリームにしていない場合は、このリスニングモードは選べません。

DTS Neo:6

2チャンネルで収録されたソースを、マルチチャンネルサラウンドの5.1チャンネルで再生するモードです。すべてのチャンネルに広い周波数帯域が確保され、チャンネル間の独立性にも優れています。映画に最適なCinemaモードと、音楽再生に最適なMusicモードが選べます。

- **Neo:6 Cinema** : 2チャンネルの映画を鑑賞するときに選んでください。
- **Neo:6 Music** : 2チャンネルの音楽を聴くときに選んでください。

Full Mono

すべてのスピーカーからモノラル音声で再生されるモードです。どの場所にいても同じ音場イメージで音楽を聴くことができます。

Game-Action

アクションゲームを楽しむのに適したモードです。

Game-Rock

ロックゲームを楽しむのに適したモードです。

Game-RPG

ロールプレイングゲームを楽しむのに適したモードです。

Game-Sports

スポーツゲームを楽しむのに適したモードです

Mono

モノラル信号で収録された古い映画の再生や、2言語が記録されているソースを左右チャンネルで独立して再生するモードです。DVDなどに記録された音声多重のサウンドトラックに適しています。

Multich (Multichannel)

マルチチャンネルPCMで収録されたソースの再生に適したモードです。

Music

テレビからジャンル情報を受信した場合に、Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定していると、自動的に選択されます。音楽系のテレビ番組を観るのに適したモードです。

- テレビがジャンル情報の出力に対応している場合のみ選択できます。

Orchestra

クラシックやオペラに適したモードです。サラウンド感を強調して、音声イメージが全体に広がる大ホールで聴いているような自然な響きが楽しめます。

Sports

テレビからジャンル情報を受信した場合に、Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定していると、自動的に選択されます。スポーツ系のテレビ番組を観るのに適したモードです。

- テレビがジャンル情報の出力に対応している場合のみ選択できます。

Stage

テレビからジャンル情報を受信した場合に、Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定していると、自動的に選択されます。演劇/ドラマ系のテレビ番組を観るのに適したモードです。

- テレビがジャンル情報の出力に対応している場合のみ選択できます。

Stereo

左右フロントスピーカーとサブウーファーから音声が出力されるモードです。

Studio-Mix

ロック、ポピュラーなどに適したモードです。パワフルな音響イメージを再現した臨場感あふれるサウンドが楽しめます。

T-D (Theater-Dimensional)

サラウンドスピーカーを設置しなくてもマルチチャンネルサラウンド再生しているようなバーチャル再生が楽しめるモードです。左右それぞれの耳に届く音声の特性を制御することによって効果を実現しています。

TV Logic

放送局のスタジオから放映されているテレビ放送に適したモードです。すべてのサラウンド音声を強調して会話音声を明瞭にすることにより、局のスタジオにいるような臨場感が楽しめます。

Unplugged

アコースティックやボーカル、ジャズなどに適したモードです。フロントの音場イメージを重視することで、ステージの前で聴いているようなサウンドが楽しめます。

リスニングモードの詳細

選択できるリスニングモード

各リスニングモードボタンで選べるリスニングモードは、入力する信号のフォーマットや実際に設置しているスピーカー構成によって異なります。また、再生機器の設定やコンテンツによっては、選択できないリスニングモードがありますのでご注意ください。

- ヘッドホン接続時に選べるリスニングモードは、Mono、Direct、Stereoのみです。

■ MOVIE/TVボタン

映画やテレビを楽しむのに適したモードが選べます。

□ Analog

Direct
Mono
PL Ⅱ Movie*1
Neo:6 Cinema*1
Stage*2
Action*2
Sports*2
TV Logic*3
AllCh Stereo*1
Full Mono*1
T-D

*1 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*2 Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。
*3 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

□ PCM

Direct
Mono

PL Ⅱ Movie*1
Neo:6 Cinema*1
Stage*2
Action*2
Sports*2
TV Logic*3
AllCh Stereo*1
Full Mono*1
T-D

*1 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*2 Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。
*3 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

☐ AAC

Direct
Mono
AAC*1 *2
PL Ⅱ Movie*3
Neo:6 Cinema*3
Stage*4
Action*4
Sports*4
TV Logic*5
AllCh Stereo*2
Full Mono*2
T-D

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。
*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。
*4 Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。
*5 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの

「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

Multich PCM

Direct
Mono
Multich*1
Stage*2
Action*2
Sports*2
TV Logic*3
AllCh Stereo*1
Full Mono*1
T-D

*1 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*2 Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。
*3 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

DSD

Direct
Mono
DSD*1 *2
PL Ⅱ Movie*3
Neo:6 Cinema*3
Stage*4
Action*4
Sports*4
TV Logic*5
AllCh Stereo*2
Full Mono*2
T-D

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。
*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーま

たはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。

*4 Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

*5 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

Dolby D

Direct
Mono
Dolby D*1 *2
PL Ⅱ Movie*3
Neo:6 Cinema*3
Stage*4
Action*4
Sports*4
TV Logic*5
AllCh Stereo*2
Full Mono*2
T-D

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。

*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。

*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。

*4 Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

*5 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

Dolby D+

Direct
Mono
Dolby D+*1 *2
PL Ⅱ Movie*3
Neo:6 Cinema*3
Stage*4
Action*4
Sports*4

TV Logic*5
AllCh Stereo*2
Full Mono*2
T-D

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。
*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。
*4 Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。
*5 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

Dolby TrueHD

Direct
Mono
Dolby TrueHD*1 *2
PL Ⅱ Movie*3
Neo:6 Cinema*3
Stage*4
Action*4
Sports*4
TV Logic*5
AllCh Stereo*2
Full Mono*2
T-D

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。
*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。
*4 Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。
*5 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

DTS

Direct
Mono
DTS*1 *2
PL Ⅱ Movie*3
Neo:6 Cinema*3
Stage*4
Action*4
Sports*4
TV Logic*5
AllCh Stereo*2
Full Mono*2
T-D

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。
*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。
*4 Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。
*5 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

DTS 96/24

Direct
Mono
DTS 96/24*1 *2
PL Ⅱ Movie*3
Neo:6 Cinema*3
Stage*4
Action*4
Sports*4
TV Logic*5
AllCh Stereo*2
Full Mono*2
T-D

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。
*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。
*4 Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。
*5 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

DTS Express

Direct
Mono
DTS Express*1 *2
PL Ⅱ Movie*3
Neo:6 Cinema*3
Stage*4
Action*4
Sports*4
TV Logic*5
AllCh Stereo*2
Full Mono*2
T-D

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。
*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。
*4 Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。
*5 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

DTS-HD HR

Direct
Mono
DTS-HD HR*1 *2

PL Ⅱ Movie*3
Neo:6 Cinema*3
Stage*4
Action*4
Sports*4
TV Logic*5
AllCh Stereo*2
Full Mono*2
T-D

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。
*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。
*4 Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。
*5 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

DTS-HD MSTR

Direct
Mono
DTS-HD MSTR*1 *2
PL Ⅱ Movie*3
Neo:6 Cinema*3
Stage*4
Action*4
Sports*4
TV Logic*5
AllCh Stereo*2
Full Mono*2
T-D

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。
*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーま

たはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。

*4 Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

*5 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

■ MUSICボタン

音楽を楽しむのに適したモードが選べます。

Analog

Direct
Stereo
PL Ⅱ Music*1
Neo:6 Music*1
Music*2
Orchestra*3
Unplugged*3
Studio-Mix*3
AllCh Stereo*1
Full Mono*1

*1 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。

*2 Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

*3 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

PCM

Direct
Stereo
PL Ⅱ Music*1
Neo:6 Music*1
Music*2
Orchestra*3
Unplugged*3
Studio-Mix*3
AllCh Stereo*1
Full Mono*1

*1 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*2 Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。
*3 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

AAC

Direct
Stereo
AAC*1 *2
PL Ⅱ Music*3
Neo:6 Music*3
Music*4
Orchestra*5
Unplugged*5
Studio-Mix*5
AllCh Stereo*2
Full Mono*2

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。
*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。
*4 Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。
*5 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

Multich PCM

Direct
Stereo
Multich*1
Music*2
Orchestra*3
Unplugged*3
Studio-Mix*3

AllCh Stereo*1
Full Mono*1

*1 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*2 Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。
*3 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

DSD

Direct
Stereo
DSD*1 *2
PL Ⅱ Music*3
Neo:6 Music*3
Music*4
Orchestra*5
Unplugged*5
Studio-Mix*5
AllCh Stereo*2
Full Mono*2

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。
*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。
*4 Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。
*5 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

Dolby D

Direct
Stereo
Dolby D*1 *2
PL Ⅱ Music*3
Neo:6 Music*3

Music*4
Orchestra*5
Unplugged*5
Studio-Mix*5
AllCh Stereo*2
Full Mono*2

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。
*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。
*4 Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。
*5 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

☐ Dolby D+

Direct
Stereo
Dolby D+*1 *2
PL Ⅱ Music*3
Neo:6 Music*3
Music*4
Orchestra*5
Unplugged*5
Studio-Mix*5
AllCh Stereo*2
Full Mono*2

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。
*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。
*4 Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。
*5 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの

「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

Dolby TrueHD

Direct
Stereo
Dolby TrueHD*1 *2
PL Ⅱ Music*3
Neo:6 Music*3
Music*4
Orchestra*5
Unplugged*5
Studio-Mix*5
AllCh Stereo*2
Full Mono*2

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。
*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。
*4 Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。
*5 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

DTS

Direct
Stereo
DTS*1 *2
PL Ⅱ Music*3
Neo:6 Music*3
Music*4
Orchestra*5
Unplugged*5
Studio-Mix*5
AllCh Stereo*2
Full Mono*2

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。
*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。
*4 Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。
*5 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

DTS 96/24

Direct
Stereo
DTS 96/24*1 *2
PL Ⅱ Music*3
Neo:6 Music*3
Music*4
Orchestra*5
Unplugged*5
Studio-Mix*5
AllCh Stereo*2
Full Mono*2

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。
*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。
*4 Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。
*5 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

DTS Express

Direct
Stereo
DTS Express*1 *2
PL Ⅱ Music*3

Neo:6 Music*3
Music*4
Orchestra*5
Unplugged*5
Studio-Mix*5
AllCh Stereo*2
Full Mono*2

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。
*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。
*4 Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。
*5 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

DTS-HD HR

Direct
Stereo
DTS-HD HR*1 *2
PL Ⅱ Music*3
Neo:6 Music*3
Music*4
Orchestra*5
Unplugged*5
Studio-Mix*5
AllCh Stereo*2
Full Mono*2

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。
*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。
*4 Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

*5 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

DTS-HD MSTR

Direct
Stereo
DTS-HD MSTR*1 *2
PL Ⅱ Music*3
Neo:6 Music*3
Music*4
Orchestra*5
Unplugged*5
Studio-Mix*5
AllCh Stereo*2
Full Mono*2

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。
*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。
*4 Setupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。
*5 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

GAMEボタン

ゲームを楽しむのに適したモードが選べます。

Analog

Direct
PL Ⅱ Game*1
Game-RPG*2
Game-Action*2
Game-Rock*2
Game-Sports*2
AllCh Stereo*1

Full Mono*1
T-D

*1 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*2 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

PCM

Direct
PL Ⅱ Game*1
Game-RPG*2
Game-Action*2
Game-Rock*2
Game-Sports*2
AllCh Stereo*1
Full Mono*1
T-D

*1 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*2 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

AAC

Direct
AAC*1 *2
PL Ⅱ Game*3
Game-RPG*4
Game-Action*4
Game-Rock*4
Game-Sports*4
AllCh Stereo*2
Full Mono*2
T-D

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。
*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。

*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。
*4 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

Multich PCM

Direct
Multich*1
Game-RPG*2
Game-Action*2
Game-Rock*2
Game-Sports*2
AllCh Stereo*1
Full Mono*1
T-D

*1 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*2 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

DSD

Direct
DSD*1 *2
PL Ⅱ Game*3
Game-RPG*4
Game-Action*4
Game-Rock*4
Game-Sports*4
AllCh Stereo*2
Full Mono*2
T-D

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。
*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。
*4 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの

「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

Dolby D

Direct
Dolby D*1 *2
PL Ⅱ Game*3
Game-RPG*4
Game-Action*4
Game-Rock*4
Game-Sports*4
AllCh Stereo*2
Full Mono*2
T-D

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。
*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。
*4 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

Dolby D+

Direct
Dolby D+*1 *2
PL Ⅱ Game*3
Game-RPG*4
Game-Action*4
Game-Rock*4
Game-Sports*4
AllCh Stereo*2
Full Mono*2
T-D

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。
*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーま

たはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。
*4 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

Dolby TrueHD

Direct
Dolby TrueHD*1 *2
PL Ⅱ Game*3
Game-RPG*4
Game-Action*4
Game-Rock*4
Game-Sports*4
AllCh Stereo*2
Full Mono*2
T-D

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。
*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。
*4 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

DTS

Direct
DTS*1 *2
PL Ⅱ Game*3
Game-RPG*4
Game-Action*4
Game-Rock*4
Game-Sports*4
AllCh Stereo*2
Full Mono*2
T-D

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。
*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要で

す。

*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。

*4 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

DTS 96/24

Direct
DTS 96/24*1 *2
PL Ⅱ Game*3
Game-RPG*4
Game-Action*4
Game-Rock*4
Game-Sports*4
AllCh Stereo*2
Full Mono*2
T-D

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。

*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。

*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。

*4 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

DTS Express

Direct
DTS Express*1 *2
PL Ⅱ Game*3
Game-RPG*4
Game-Action*4
Game-Rock*4
Game-Sports*4
AllCh Stereo*2
Full Mono*2
T-D

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択で

きません。

*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。

*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。

*4 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

DTS-HD HR

Direct
DTS-HD HR*1 *2
PL Ⅱ Game*3
Game-RPG*4
Game-Action*4
Game-Rock*4
Game-Sports*4
AllCh Stereo*2
Full Mono*2
T-D

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。

*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。

*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。

*4 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

DTS-HD MSTR

Direct
DTS-HD MSTR*1 *2
PL Ⅱ Game*3
Game-RPG*4
Game-Action*4
Game-Rock*4
Game-Sports*4
AllCh Stereo*2
Full Mono*2

T-D

*1 入力フォーマットのチャンネル数がモノラル、2 chの場合、選択できません。
*2 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。
*3 入力フォーマットのチャンネル数が2 chで、センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを設置しているときのみ選択できます。
*4 サラウンドスピーカーの設置が必要です。またはSetupメニューの「ジャンル連動」を「自動」に設定する必要があります。

■ STEREOボタン

StereoおよびAllCh Stereoのリスニングモードが選べます。

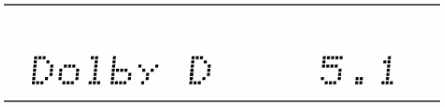
□ 全ソース

Stereo
AllCh Stereo*1

*1 センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーの設置が必要です。

入力フォーマットを確かめる

再生機器の音声が入力している状態で、リモコンのDISPLAYボタンをくり返し押すと本体表示部の情報が切り換わります。たとえば「Dolby D 5.1」が表示された場合は、ドルビーデジタル5.1 chの信号が入力していることを示します。

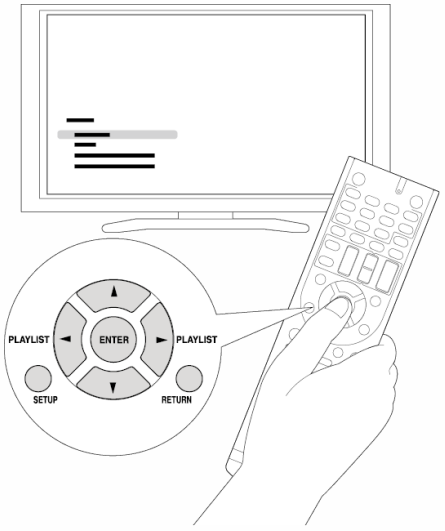


応用的な設定（Setupメニュー）

設定方法

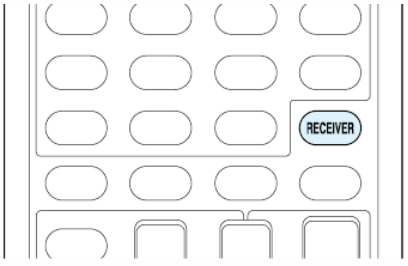
本機をより深くお楽しみいただくための応用的な設定ができます。

● **設定操作は**：テレビ画面に表示される操作画面で操作を行います。リモコンのカーソルで内容を選び、ENTERボタンで決定します。ひとつ前の画面に戻るにはRETURNボタンを押します。

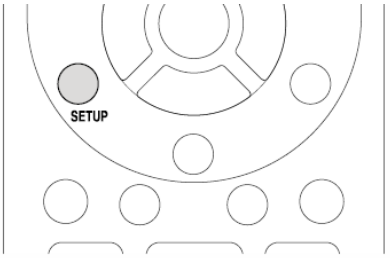


■ 操作する

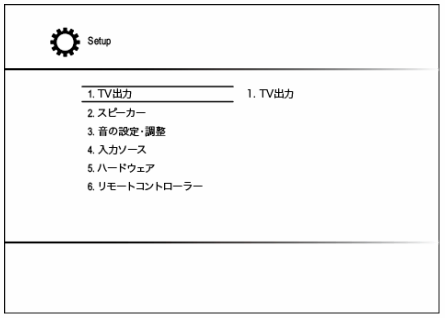
1. リモコンのRECEIVERボタンを押します。
   - 他の機器を操作するリモートモードに切り換わっていることがあるため、RECEIVERボタンを押してRECEIVERモード（本機を操作するモード）にしてから操作してください。



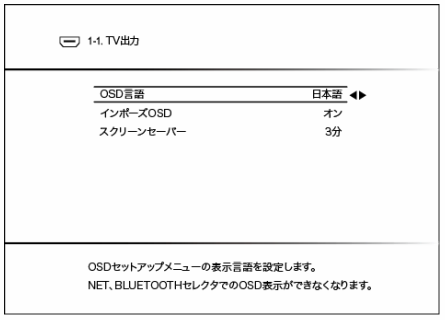
2. SETUPボタンを押して、Setupメニューを表示させます。



3. カーソル▲/▼で目的のメニューを選び、ENTERボタンを押します。



4. カーソル▲/▼で項目を選び、ENTERボタンを押します。
5. カーソル▲/▼/◄/►で内容を選び、設定します。



設定を終了するときは : SETUPボタンを押して終了させてください。

Setupメニュー概要:

1. TV出力
設定メニューなどをテレビに表示させる機能（OSD）に関する設定を行います。
2. スピーカー
各スピーカーの詳細設定を行います。
3. 音の設定・調整
音に関する各種設定を行います。
4. 入力ソース
入力切換ボタンごとに接続した機器の音量差を調整するなど、入力ソースに関する設定を行います。
5. ハードウェア
HDMI接続した機器との連動動作や本機のスタンバイに関する設定などを行います。
6. リモートコントローラー
リモコンに関する設定を行います。

1. TV出力

TV出力

設定メニューなどをテレビに表示させる機能（OSD）に関する設定を行います。

OSD言語

初期値: 日本語

テレビに表示する言語を選びます。
英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、オランダ語、スウェーデン語、日本語から選択してください。

インポーズOSD

初期値: オン

音量調整や入力切換などの情報をテレビ画面に表示するかどうかを設定します。
「オン」：OSDをテレビに表示する
「オフ」：OSDをテレビに表示しない

- この設定を「オン」にしても、入力信号によってはOSDが表示されないことがあります。表示されない場合は、接続機器の解像度を変更してください。

スクリーンセーバー

初期値: 3分

スクリーンセーバーの起動時間の設定です。「3分」、「5分」、「10分」、「オフ」から選びます。

2. スピーカー

サブウーファーの有無やクロスオーバー周波数の数値など、各スピーカーの設定を変更することができます。
ヘッドホンを接続しているときやご利用のテレビのスピーカーから音声を出力しているときは、この設定を選択することはできません。

配置・構成

接続したスピーカーのチャンネル数など、スピーカーの設定を変更することができます。

スピーカーチャンネル

初期値: 5.1 ch

接続しているスピーカーのチャンネル数に合わせて、「2.1 ch」、「3.1 ch」、「4.1 ch」、「5.1 ch」から選択してください。

サブウーファー

初期値: 有り

サブウーファーの有無を設定します。
「有り」：サブウーファーを接続する場合
「無し」：サブウーファーを接続しない場合

クロスオーバー

スピーカーのクロスオーバー周波数など、各スピーカーの設定を変更することができます。この設定を行っているときは音声は出力されません。

フロント

初期値: スモール

各スピーカーのサイズを設定します。コーン直径を目安に設定してください。
「スモール」：コーン直径が16 cmより小さい場合
「ラージ」：コーン直径が16 cmより大きい場合

- 「配置・構成」 - 「サブウーファー」を「無し」に設定している場合、この設定は「ラージ」に固定されます。

センター

初期値: スモール

各スピーカーのサイズを設定します。コーン直径を目安に設定してください。
「スモール」：コーン直径が16 cmより小さい場合
「ラージ」：コーン直径が16 cmより大きい場合

- 「ラージ」は、「フロント」が「ラージ」に設定されているときのみ選択できます。
- 正しく接続しているにもかかわらず項目を選択できないときは、「配置・構成」-「スピーカーチャンネル」の設定が接続しているチャンネル数と合っているか確認してください。

サラウンド

初期値: スモール

各スピーカーのサイズを設定します。コーン直径を目安に設定してください。
「スモール」：コーン直径が16 cmより小さい場合
「ラージ」：コーン直径が16 cmより大きい場合

- 「ラージ」は、「フロント」が「ラージ」に設定されているときのみ選択できます。
- 正しく接続しているにもかかわらず項目を選択できないときは、「配置・構成」-「スピーカーチャンネル」の設定が接続しているチャンネル数と合っているか確認してください。

クロスオーバー

初期値: 100Hz

各スピーカーが出力する最低音域を設定し、設定値以下の低音域をサブウーファーから出力するようにします。コーン直径を目安に設定してください。
「40Hz」、「50Hz」、「60Hz」：コーン直径が20 cm以上の場合
「70Hz」、「80Hz」、「90Hz」：コーン直径が16～20 cmの場合
「100Hz」：コーン直径が13～16 cmの場合
「120Hz」：コーン直径が9～13 cmの場合
「150Hz」、「180Hz」、「200Hz」：コーン直径が9 cm以下の場合

ダブルバス

初期値: オン

「配置・構成」 -「サブウーファー」の設定が「有り」で、「フロント」の設定が「ラージ」のときのみ選択できます。
左右フロントスピーカー、センタースピーカーの低音をサブウーファーに送り、低音の出力を強調します。
「オン」：低音の出力を強調する場合

「オフ」：低音の出力を強調しない場合

距離

視聴位置から各スピーカーまでの距離を設定します。

☐ 単位

初期値: メートル

設定時の距離の単位を設定します。
「メートル」：メートルで設定する場合（0.03m -9.00m：0.03m単位）
「フィート」：フィートで設定する場合（0.1ft -30.0ft：0.1ft単位）

☐ フロント左

初期値: 3.60m

各スピーカーと視聴位置の距離を設定します。

☐ センター

初期値: 3.60m

各スピーカーと視聴位置の距離を設定します。

☐ フロント右

初期値: 3.60m

各スピーカーと視聴位置の距離を設定します。

☐ サラウンド右

初期値: 2.10m

各スピーカーと視聴位置の距離を設定します。

☐ サラウンド左

初期値: 2.10m

各スピーカーと視聴位置の距離を設定します。

☐ サブウーファー

初期値: 3.60m

各スピーカーと視聴位置の距離を設定します。

- 「配置・構成」-「スピーカーチャンネル」/「サブウーファー」の設定に

よっては各スピーカーの「距離」は変更できません。

スピーカー音量レベル

各スピーカーからのテスト音を聴きながら、音量レベルを設定します。

フロント左

初期値: 0dB

「－12dB」～「＋12dB」から選びます。数値を変えるたびにテスト音が出力されますので、お好みの音量レベルを選択してください。

センター

初期値: 0dB

「－12dB」～「＋12dB」から選びます。数値を変えるたびにテスト音が出力されますので、お好みの音量レベルを選択してください。

フロント右

初期値: 0dB

「－12dB」～「＋12dB」から選びます。数値を変えるたびにテスト音が出力されますので、お好みの音量レベルを選択してください。

サラウンド右

初期値: 0dB

「－12dB」～「＋12dB」から選びます。数値を変えるたびにテスト音が出力されますので、お好みの音量レベルを選択してください。

サラウンド左

初期値: 0dB

「－12dB」～「＋12dB」から選びます。数値を変えるたびにテスト音が出力されますので、お好みの音量レベルを選択してください。

サブウーファー

初期値: 0dB

「－15dB」～「＋12dB」から選びます。数値を変えるたびにテスト音が出力されますので、お好みの音量レベルを選択してください。

- 「配置・構成」-「スピーカーチャンネル」/「サブウーファー」の設定によっては各スピーカーの「スピーカー音量レベル」は変更できません。
- ミュート（消音）中は「スピーカー音量レベル」の設定は変更できません。

3. 音の設定・調整

多重音声／言語放送を聴くときの設定や、各リスニングモード再生時の音場の設定など、音に関する各種設定を行います。

多重音声/モノラル

多重音声入力チャンネル

初期値: 主

多重音声や多重言語の放送などを再生するときの音声や言語の種類を設定します。
「主」：主音声のみが再生されます。
「副」：副音声のみが再生されます。
「主/副」：主音声と副音声が同時に再生されます。

- 音声多重放送の場合、DISPLAYボタンを押すと本体表示部に「1＋1」と表示されます。

モノラル入力チャンネル

初期値: 左＋右

2チャンネルで記録されたDolby Digitalなどのデジタル信号やアナログ／PCM信号をMonoリスニングモードで再生する場合の入力チャンネルを設定します。
「左」：左チャンネルの音声のみを再生します。
「右」：右チャンネルの音声のみを再生します。
「左＋右」：左右両チャンネルの音声を再生します。

Dolby

Dolbyリスニングモード時の設定を行います。

Panorama

初期値: オフ

2チャンネルで記録されたDolby Digitalなどのデジタル信号やアナログ／PCM信号をDolby Pro Logic Ⅱ Musicリスニングモードで再生する際の音場設定を調整します。音場の横方向への広がりを設定します。
「オン」：音場を横方向に広げて再生します。

「オフ」：初期設定値です。

- [ ] Dimension

初期値: 0

2チャンネルで記録されたDolby Digitalなどのデジタル信号やアナログ／PCM信号をDolby Pro Logic Ⅱ Musicリスニングモードで再生する際の音場設定を調整します。音場の前後方向を調整します。
「-3」～「+3」：「0」を中心に、設定値が小さいほど前方に、大きいほど後方に音場が移動します。

- [ ] Center Width

初期値: 3

2チャンネルで記録されたDolby Digitalなどのデジタル信号やアナログ／PCM信号をDolby Pro Logic Ⅱ Musicリスニングモードで再生する際の設定です。フロント音場の広がりを調整します。
「0」～「7」：設定値が小さいほど中央に音が集中し、大きいほど中央の音を左右に振り分ける率が高くなります。

- [ ] Loudness Management

初期値: オン

Dolby TrueHD再生時に、小音量でもサラウンドが楽しめるレイトナイト機能を有効にします。
「オン」 ： この機能を使用する場合
「オフ」 ： この機能を使用しない場合

DTS

DTS Neo:6 Musicリスニングモード時の設定を行います。

- [ ] Neo:6 Music Center Image

初期値: 2

DTS Neo:6 Musicリスニングモードで再生する際の、フロント音場の広がりを調整します。
「0」～「5」：設定値が小さいほどフロント音場が中央に寄り、大きいほど左右に広がります。

Theater-Dimensional

Theater-Dimensionalリスニングモード時の設定を行います。

- [ ] リスニングアングル

初期値: 広い

Theater-Dimensionalの効果を高めるために、視聴位置から見た左右のフロントスピーカーの実際の角度に合わせて選択します。
「狭い」：30°より狭い場合
「広い」：30°より広い場合

- 「リスニングアングル」の設定で「狭い」を選んだ場合は20°、「広い」を選んだ場合は40°になるようフロントスピーカーを設置することをおすすめします。

---

4. 入力ソース

入力切換ボタンごとに接続した機器の音量差を調整するなど、入力ソースに関する設定を行います。任意の入力切換を選び、音声を確認する場合は接続機器を再生してください。

インテリボリューム

☐ インテリボリューム

初期値: 0dB

本機に接続された複数の機器で音量差がある場合の調整です。「－12dB」～「＋12dB」から選びます。他の機器と比べて音量が大きい場合は－の値を、小さい場合は＋の値で調整します。

名前変更

各入力切換にわかりやすい名前を設定します。設定した名前が本体表示部に表示されます。設定する場合は任意の入力切換を選んでください。

☐ 名前

初期値: ---

現在選んでいる入力切換の名前を、本機にあらかじめ登録されている名前の中から選んで設定します。

- 複数の入力切換に同じ名前は指定できません。

- 「TUNER」、「BLUETOOTH」の入力切換を選択時は、設定できません。

音声信号選択

音声入力に関する設定です。入力切換ボタンごとに設定します。設定する場合は任意の入力切換を選んでください。

☐ 音声信号選択

初期値: -

BD/DVDのHDMI端子とAUDIO端子に接続しているなど、1つの入力切換に複数の音声接続をしている場合に、優先する入力端子を選択します。選択中の入力切換にない端子を選ぶことはできません。

- この設定を変更していない場合は、HDMI→DIGITAL AUDIO/OPTICAL→アナログの順で優先されます。

「ARC」：ARC対応テレビからの入力信号を優先する場合

- この項目は、「HDMI」-「Audio Return Channel」の設定を「自動」にして、かつ「TV」の入力切換を選択時にのみ選ぶことができます。

「HDMI」：HDMI端子の入力を優先する場合
「DIGITAL AUDIO」：DIGITAL AUDIO端子の入力を優先する場合
「OPTICAL（光入力）」：OPTICAL端子の入力を優先する場合
「アナログ」：AUDIO端子の入力を優先する場合

- 「GAME 1」、「STRM BOX」の入力切換を選択時は、この設定は変更できません。

☐ PCM固定モード

初期値: オフ

「音声信号選択」の設定で「HDMI」、「DIGITAL AUDIO」、「OPTICAL（光入力）」を選んだ場合、入力信号をPCM（マルチチャンネルPCMは除く）に固定するかどうかを選択します。PCM信号の再生中にノイズや曲間の頭切れが発生する場合は「オン」に設定してください。通常は「オフ」にしておいてください。

- 「音声信号選択」の設定を変更するたびにこの設定は「オフ」に戻ります。

- 「GAME 2」、「VCR」、「AUX」、「TUNER」、「BLUETOOTH」の入力切換を選択時は、この設定は変更できません。

映像選択

☐ 映像選択

初期値: 最終値

「TUNER」または「BLUETOOTH」選択時に出力される音声と合わせて再生する映像の入力切換を選択します。
「最終値」：直前に再生された映像の入力切換を選択します。
「BD/DVD」、「CBL/SAT」、「GAME 1」、「GAME 2」、「STRM BOX」、「VCR」、「AUX」：各入力の映像を再生します。

- 「TUNER」、「BLUETOOTH」以外の入力切換を選択時は、この設定は変更できません。

---

5. ハードウェア

HDMI

HDMI CEC (RIHD)

初期値: オフ

この設定を「オン」にすると、HDMI接続したCEC対応機器と入力切換連動などの連動機能が働きます。
「オン」：この機能を使用する場合
「オフ」：この機能を使用しない場合
この設定を変更した場合、すべての接続機器の電源を切って電源を入れ直してください。

- ご使用のテレビによっては、テレビ側でリンク設定などが必要です。
- この設定を「オン」にして、操作画面を閉じると、本体表示部に接続されているCEC対応機器名称と「CEC On」が表示されます。
- この設定を「オン」にすると、スタンバイ状態での消費電力が増加することがあります。（テレビの状態により、通常の待機時消費電力モードになります。）
- この設定が「オン」で、ご利用のテレビのスピーカーから音声を出力しているときに、本機のMASTER VOLUMEつまみを操作すると、本機に接続したスピーカーからも音声が出ます。どちらか一方の音声のみ出力したい場合は、本機またはテレビの設定を変えるか、本機の音量を下げてください。
- この設定を「オン」にして、異常な動作をする場合は「オフ」にしてください。
- 接続した機器がCECに対応していない場合や、対応しているかわからない場合は、「オフ」にしてください。

HDMIスタンバイスルー

初期値: オフ

「オフ」以外に設定すると、本機がスタンバイ状態でも、HDMI接続している再生機器の映像と音声をテレビで再生することができます。なお、「HDMI CEC (RIHD)」が「オン」に設定されている場合は、「自動」および「自動（エコ）」のみ選択できます。その他を選択する場合は、「HDMI CEC (RIHD)」を「オフ」に設定してください。

- 「オフ」以外に設定すると、スタンバイ状態での消費電力が増加し

ます。
「BD/DVD」、「CBL/SAT」、「GAME 1」、「STRM BOX」：たとえば「BD/DVD」を選んでいると、本機がスタンバイ状態でも、「BD/DVD」端子に接続した再生機器をテレビで再生することができます。この機能を使用したい再生機器が決まっている場合に、この設定値を選択します。
「最終値」：スタンバイにする直前に選んでいた入力切換の映像と音声をテレビで再生することができます。「最終値」を選んだ場合は、スタンバイ状態でもリモコンで本機の入力を切り換えることができます。
「自動」、「自動（エコ）」：接続した再生機器がCEC規格に準拠している場合は、この設定を選びます。スタンバイにする直前に選んでいた入力切換が何であっても、CEC連動機能により、再生機器の映像と音声をテレビで再生することができます。

- CEC規格に準拠していない再生機器をテレビで再生する場合は、本機の電源をオンにして入力を切り換える必要があります。
- CEC規格に準拠したテレビをお使いの場合は、「自動（エコ）」を選ぶとスタンバイ状態での消費電力を低減できます。

テレビオーディオ出力

初期値: オフ

本機の電源が入った状態で、HDMI接続したテレビのスピーカーから音声を聴くことができます。
「オン」：この機能を使用する場合
「オフ」：この機能を使用しない場合

- この設定を「オン」にする場合は「HDMI CEC (RIHD)」の設定を「オフ」にしてください。
- 「HDMI CEC (RIHD)」の設定を「オン」にした場合、この設定は「自動」に固定されます。
- 「テレビオーディオ出力」が「オン」に設定されている場合、テレビから音声が出ているときはリスニングモードを変更できません。
- お使いのテレビや接続機器の入力信号によっては、この設定が「オン」でもテレビから音声が出ないことがあります。その場合は、本機のスピーカーから音声が出ます。
- 「テレビオーディオ出力」、または「HDMI CEC (RIHD)」の設定が「オン」で、ご利用のテレビのスピーカーから音声を出力しているときに、本機のMASTER VOLUMEつまみを操作すると、本機から音声が出ます。音声を出したくない場合は、本機またはテレビの設定を変えるか、本機の音量を下げてください。

Audio Return Channel

初期値: 自動

HDMI接続したARC機能対応テレビの音声を、本機と接続したスピーカーで聴くことができます。この機能を使用するには、あらかじめ

「HDMI CEC (RIHD)」を「オン」に設定しておいてください。
「自動」：テレビの音声を本機のスピーカーで聴く場合
「オフ」：ARC機能を使用しない場合

☐ ジャンル連動

初期値: 自動

テレビからのジャンル情報に応じて、あらかじめ用意されたリスニングモードに自動的に切り換えます。お使いのテレビがジャンル情報の出力に対応している必要があります。この機能を使用するには、あらかじめ「HDMI CEC (RIHD)」を「オン」に設定しておいてください。
「自動」：この機能を使用する場合
「オフ」：この機能を使用しない場合

☐ 自動リップシンク

初期値: オン

HDMIリップシンク対応テレビからの情報に応じて映像と音声のズレを自動補正します。
「オン」：自動補正機能を有効にする場合
「オフ」：自動補正機能を使用しない場合

電源管理

☐ スリープタイマー

初期値: オフ

指定した時間が経過したら、本機を自動的にスタンバイ状態にすることができます。「10分」 ～ 「90分」から選びます。
「オフ」：自動的にスタンバイ状態にしない場合

☐ 自動スタンバイ

初期値: オフ

映像または音声入力がない状態で本機を20分間操作しなかった場合、自動的にスタンバイ状態に移行させることができます。
「オン」：自動的にスタンバイ状態に移行させる場合（「ASb」表示が点灯します。）
「オフ」：スタンバイ状態への移行をさせない場合

- スタンバイ状態に移行する30秒前に本体表示部とテレビ画面に「Auto Standby」と表示されます。

☐ HDMIスタンバイスルー時の自動スタンバイ

初期値: オフ

「HDMIスタンバイスルー」動作中に「自動スタンバイ」設定を有効または無効にします。
「オン」：有効にする場合
「オフ」：無効にする場合
- 「自動スタンバイ」の設定が「オフ」の場合、この設定は「オン」にできません。

スタンバイ時のSTRM BOXへの電源供給

初期値: オフ

この機能を「オン」に設定すると、本機がスタンバイ状態でも、USB端子に接続された機器に給電することができます。
- この機能を使用中は、スタンバイ状態での消費電力が増加します。

Bluetooth

Bluetooth

初期値: オン

Bluetooth機能の使用/不使用を設定します。
「オン」：Bluetooth機能を使用して、Bluetooth対応機器との接続を有効にします。Bluetoothに関する各種設定を行う場合もこの設定を「オン」にしてください。
「オフ」：Bluetooth機能を使用しない場合

自動入力切り換え

初期値: オン

Bluetooth対応機器側から本機に接続すると、本機の入力切換を自動的に「BLUETOOTH」に切り換えることができます。
「オン」：Bluetooth対応機器の接続に対応して、入力切換を自動で「BLUETOOTH」にします。
「オフ」：この機能を無効にします。
- 自動的に入力切換が切り換わらない場合は、「オフ」に設定して、手動で入力切換を設定してください。

自動接続

初期値: オン

入力切換を「BLUETOOTH」に切り換えると、自動的に最後に接続していたBluetooth対応機器と接続する機能です。
「オン」：この機能を使用する場合
「オフ」：この機能を使用しない場合
- ご使用のBluetooth対応機器によっては、この機能が働かないことがあります。

ペアリング情報

初期値: -

本機に保存されているペアリング情報を初期化することができます。「削除」が表示された状態でENTERボタンを押すと、本機に保存されているペアリング情報が初期化されます。

- Bluetooth対応機器側のペアリング情報は初期化されません。再度その機器と本機をペアリングする際は、Bluetooth対応機器側のペアリング情報を消去してから行ってください。ペアリング情報の消去については、Bluetooth対応機器の取扱説明書をご参照ください。

デバイス

初期値: -

接続されているBluetooth対応機器の名前が表示されます。

- 「ステータス」が「待機中」や「ペアリング」の場合は、名前は表示されません。

ステータス

初期値: -

接続されているBluetooth対応機器の状態が表示されます。
「待機中」：ペアリングされていない
「ペアリング」：ペアリング中
「接続済み」：接続完了

6. リモートコントローラー

リモコンID

リモコンID

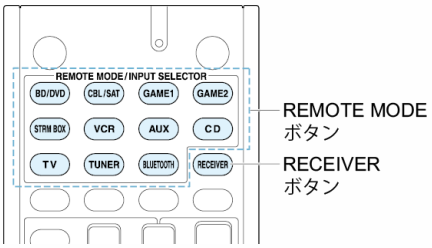
初期値: 1

オンキヨー製品が同じ部屋に複数ある場合、他の製品との混線を防ぐために、本機で使うリモコンのIDを「1」、「2」、「3」から選び、設定します。IDを変更した場合、以下の操作でリモコン本体も本体側と同じIDに設定してください。

1. RECEIVERボタンを押しながら、リモートインジケーターが点灯するまでSETUPボタンを約3秒間押します。
2. 数字ボタンで1、2、3のいずれかを押します。リモートインジケーターが2回点滅します。

REMOTE MODEボタンの機能

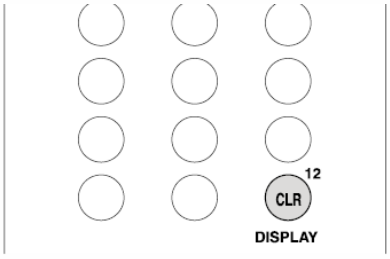
リモコンのREMOTE MODEボタンには、特定のリモコンコードをプログラムすることで、本機以外の製品を操作することを可能にする機能が備わっています。任意のREMOTE MODEボタンにリモコンコードを登録し、そのボタンを押すと、リモコンが対応する機器を操作するリモートモードに切り換わります。



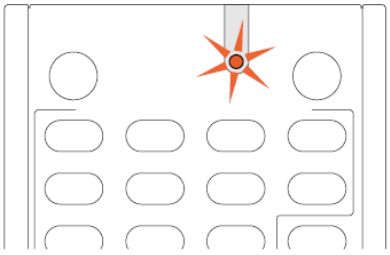
リモコンコードを登録する

■ リモコンコード表を参照して登録する

1. リモコンコード一覧を参照して、該当するリモコンコードを探します。
   - リモコンコード表は作成時点のものであり、変更される場合もあります。
   - 次のREMOTE MODEボタンにはあらかじめリモコンコードが登録されています。
     BD/DVDボタン：オンキヨー製ブルーレイディスク／DVDプレーヤー
     CDボタン：オンキヨー製CDプレーヤー
     STRM BOXボタン：Apple TV
   - TVボタンにはテレビカテゴリーのリモコンコードしか登録できません。
   - 各ボタンは入力を切り換える機能も兼ねているので、入力に応じた機器のリモコンコードを登録してください。（たとえばCDプレーヤーをCD端子に接続している場合は、CDボタンにそのCDプレーヤーのコードを登録するなど）
2. リモコンコードを登録するREMOTE MODEボタンを押しながら、DISPLAYボタンを3秒以上押します。

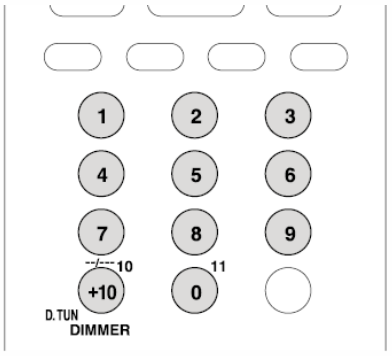


   - 入力モードに入ったら、リモートインジケーターが点灯します。



3. 30秒以内に、数字ボタンでリモコンコード（5桁）を入力します。
   - 登録が完了したら、リモートインジケーターが2回点滅します。正しく登録できなかった場合は、リモートインジケーターがゆっくりと1

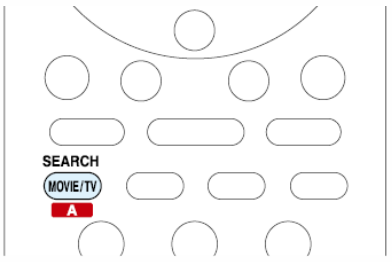
回点滅しますので、再度登録操作を行ってください。



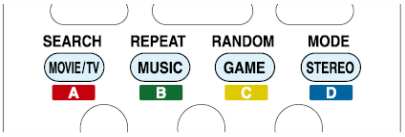
■ カラーボタンの割り当てを変更する

REMOTE MODEボタンに登録されたリモコンコードの機器のリモコンと、本機のリモコンのカラーボタンの割り当て順を一致させることができます。

1. 設定するREMOTE MODEボタンとA（赤）ボタンをリモートインジケーターが点灯するまで、約3秒間同時に押します。
   - リモコンコードのカテゴリーに属するコードに対してのみ割り当てを変更できます。（DVDプレーヤー、テレビなど）



2. 30秒以内に、左から右へと割り当てたい順番でカラーボタンを押します。
   - たとえば、他の製品のリモコンのカラーボタンが左から黄、緑、青、赤と割り当てられている場合は、本機のリモコンもその順に押してください。
   - 登録が完了したら、リモートインジケーターが2回点滅します。正しく登録できなかった場合は、リモートインジケーターがゆっくりと１回点滅しますので、再度登録操作を行ってください。
   - カラーボタン以外のボタンを押すと、登録がキャンセルされます。

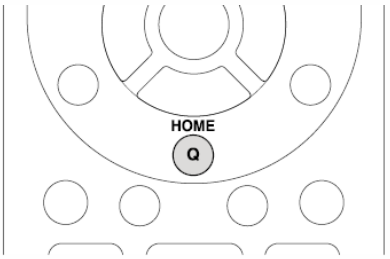


■ REMOTE MODEボタンをリセットする

REMOTE MODEボタンに登録したリモコンコードをリセットし、ボタンの設定をお買い上げ時の状態に戻します。この操作は、REMOTE MODEボタ

ン1つに対してのみ行うことができます。

1. リセットしたいREMOTE MODEボタンを押しながら、Qボタンを3秒以上押します。
   - リモートインジケーターが点灯します。



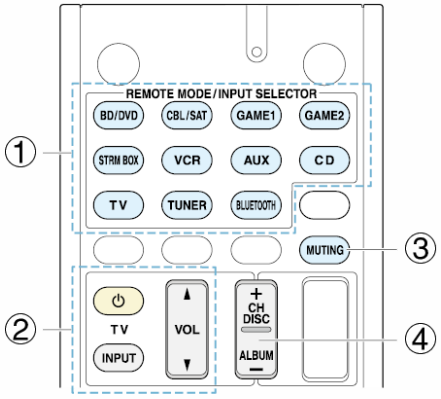
2. 30秒以内に、REMOTE MODEボタンを再度押します。
   - リセットが完了したら、リモートインジケーターが2回点滅します。

リモコンのすべての設定をリセットするには : RECEIVERボタンを押しながら、リモートインジケーターが点灯するまで、Qボタンを3秒以上押します。30秒以内に、RECEIVERボタンを再度押してください。リセットが完了したら、リモートインジケーターが2回点滅します。

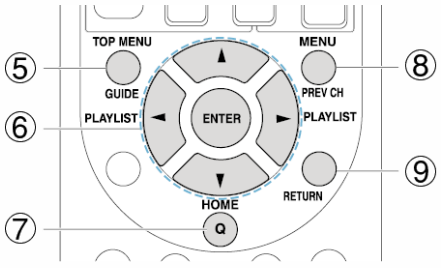
リモコンで他の製品を操作する

テレビの操作

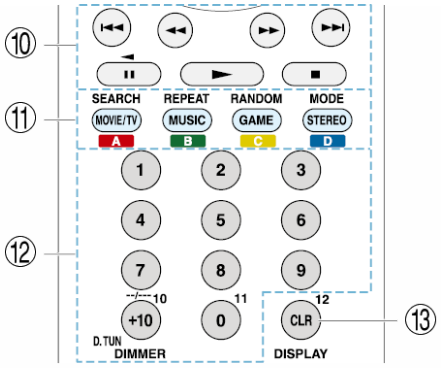
リモコンコードを登録したREMOTE MODEボタンを押して、任意のAV機器を操作するモードに切り換えます。モードを切り換えたうえで、該当するボタンを使用して操作してください。製品カテゴリーによって使用できる操作ボタンが異なります。製品によっては、適切に動作しない、またはまったく動作しない場合があります。



① REMOTE MODE
② ⏻、INPUT、VOL ▲/▼
③ MUTING
④ CH ＋/－



⑤ GUIDE
⑥ ▲/▼/◄/►、ENTER
⑦ HOME
⑧ PREV CH
⑨ RETURN

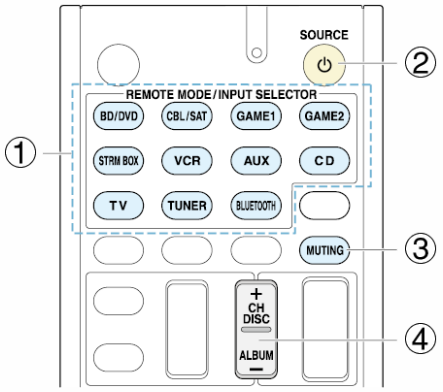


⑩ ►、❚❚、■、◄◄、►►、⏮、⏭ （＊）
⑪ A（赤）、B（緑）、C（黄）、D（青）
⑫ 数字1～9、0、＋10
⑬ CLR、DISPLAY

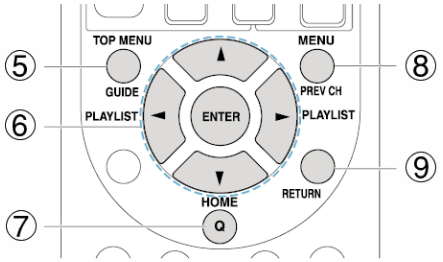
＊ CECの連動操作には対応していません。

ブルーレイディスクプレーヤー／DVDプレーヤー／DVDレコーダーの操作

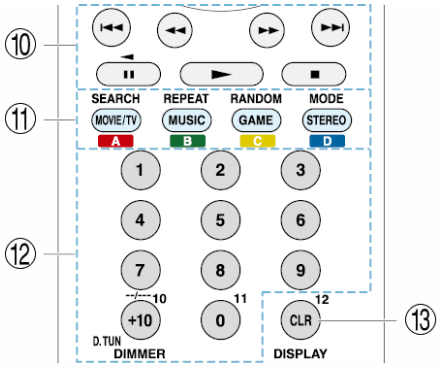
リモコンコードを登録したREMOTE MODEボタンを押して、任意のAV機器を操作するモードに切り換えます。モードを切り換えたうえで、該当するボタンを使用して操作してください。製品カテゴリーによって使用できる操作ボタンが異なります。製品によっては、適切に動作しない、またはまったく動作しない場合があります。



① REMOTE MODE
② ⏻SOURCE
③ MUTING
④ CH +/−、DISC +/−



⑤ TOP MENU
⑥ ▲/▼/◄/►、ENTER
⑦ HOME
⑧ MENU
⑨ RETURN

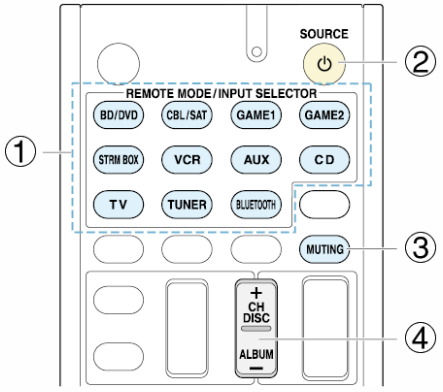


⑩ ►、❚❚、■、◄◄、►►、⏮、⏭
⑪ A（赤）、B（緑）、C（黄）、D（青）
⑫ 数字1～9、0、＋10（＊）
⑬ CLR、DISPLAY

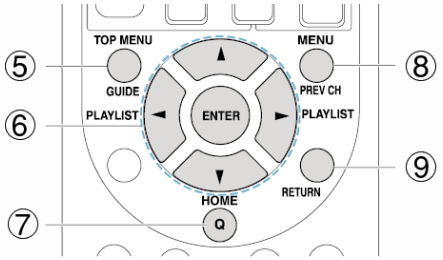
＊ CECの連動操作には対応していません。

ビデオデッキ付きテレビなどの複合機の操作

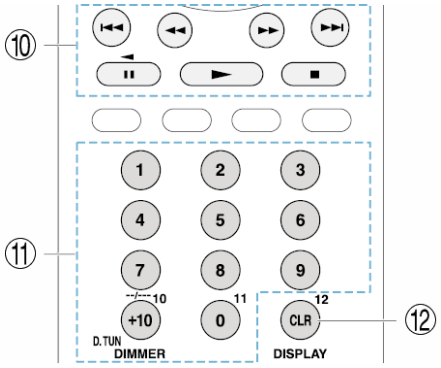
リモコンコードを登録したREMOTE MODEボタンを押して、任意のAV機器を操作するモードに切り換えます。モードを切り換えたうえで、該当するボタンを使用して操作してください。製品カテゴリーによって使用できる操作ボタンが異なります。製品によっては、適切に動作しない、またはまったく動作しない場合があります。



① REMOTE MODE
② ⏻SOURCE
③ MUTING
④ CH +/−



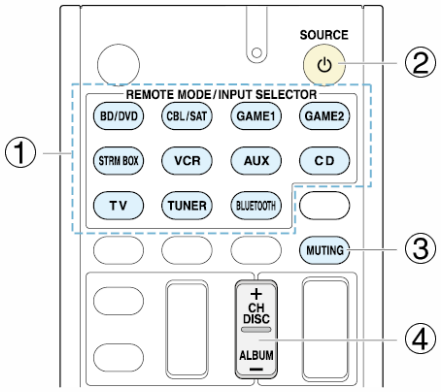
⑤ GUIDE
⑥ ▲/▼/◄/►、ENTER
⑦ HOME
⑧ PREV CH
⑨ RETURN



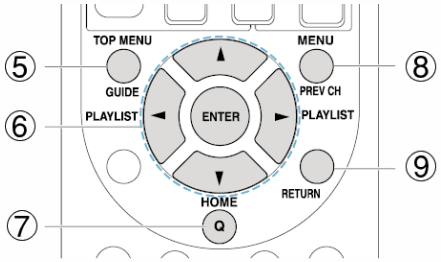
⑩ ►、❚❚、■、◄◄、►►、⏮、⏭
⑪ 数字1～9、0、＋10
⑫ CLR、DISPLAY

衛星放送チューナー／ケーブルテレビチューナーの操作

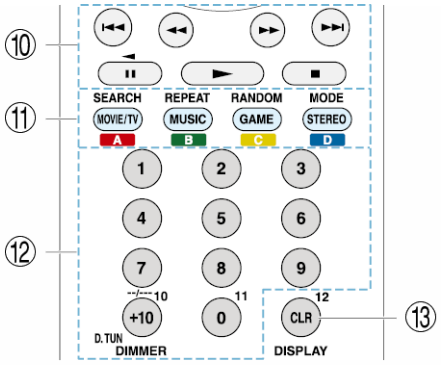
リモコンコードを登録したREMOTE MODEボタンを押して、任意のAV機器を操作するモードに切り換えます。モードを切り換えたうえで、該当するボタンを使用して操作してください。製品カテゴリーによって使用できる操作ボタンが異なります。製品によっては、適切に動作しない、またはまったく動作しない場合があります。



① REMOTE MODE
② ⏻SOURCE
③ MUTING
④ CH +/−



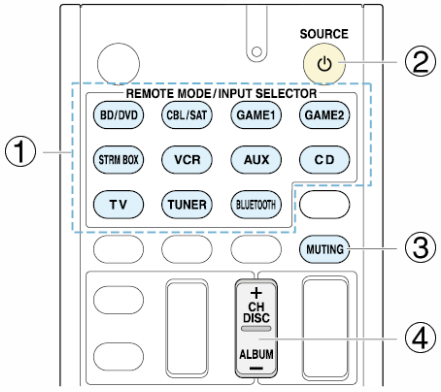
⑤ GUIDE
⑥ ▲/▼/◄/►、ENTER
⑦ HOME
⑧ PREV CH
⑨ RETURN



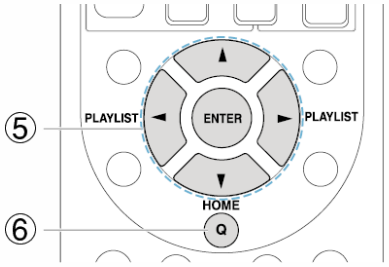
⑩ ►、❚❚、■、◄◄、►►、⏮、⏭
⑪ A（赤）、B（緑）、C（黄）、D（青）
⑫ 数字1～9、0、＋10
⑬ CLR、DISPLAY

CDプレーヤーの操作

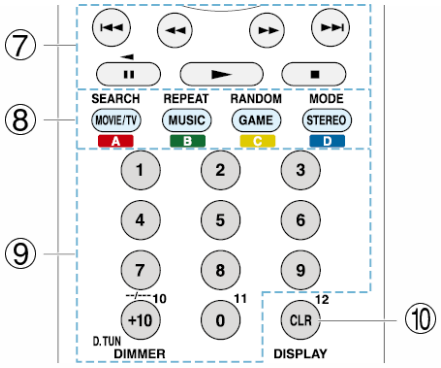
リモコンコードを登録したREMOTE MODEボタンを押して、任意のAV機器を操作するモードに切り換えます。モードを切り換えたうえで、該当するボタンを使用して操作してください。製品カテゴリーによって使用できる操作ボタンが異なります。製品によっては、適切に動作しない、またはまったく動作しない場合があります。



① REMOTE MODE
② ⏻SOURCE
③ MUTING
④ DISC ＋/－



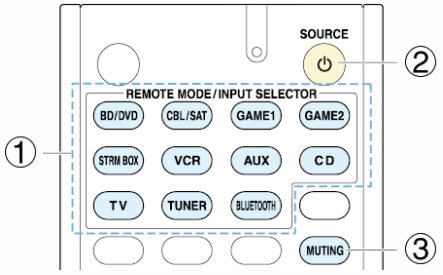
⑤ ▲/▼/◄/►、ENTER
⑥ HOME



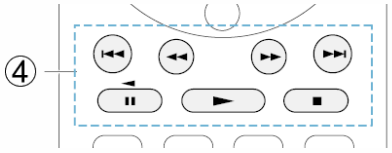
⑦ ►、❚❚、■、◄◄、►►、⏮、⏭
⑧ SEARCH、REPEAT、RANDOM、MODE
⑨ 数字1～9、0、＋10
⑩ CLR、DISPLAY

カセットテープデッキの操作

リモコンコードを登録したREMOTE MODEボタンを押して、任意のAV機器を操作するモードに切り換えます。モードを切り換えたうえで、該当するボタンを使用して操作してください。製品カテゴリーによって使用できる操作ボタンが異なります。製品によっては、適切に動作しない、またはまったく動作しない場合があります。



① REMOTE MODE
② ⏻SOURCE
③ MUTING



④ ►、◄（リバース再生）、■、◄◄、►►、⏮、⏭

CEC対応の機器を操作する場合

本機とテレビやブルーレイディスク/DVDプレーヤーをHDMI接続すれば、本機のリモコンでCEC（Consumer Electronics Control）の連動操作ができる場合があります。

テレビ：リモコンのTVボタンには、あらかじめ一部のCEC対応テレビを連動操作するリモコンコードが登録されています。

- お手持ちのCEC対応テレビが操作できない場合は、TVボタンに次のリモコンコード（11807/13100/13500）を登録してください。

ブルーレイディスク/DVDプレーヤー：BD/DVDボタンに特定のリモコンコード（32910/33101/33501/31612）を登録すると、一部のCEC対応ブルーレイディスク/DVDプレーヤーを連動操作できるようになります。

RI機能の概要

別売りのRIドックなど、RI端子付きのオンキヨー製品と本機を、RIケーブルおよびオーディオ用ピンケーブルで接続すると、以下のような連動機能が働きます。

システムオンとオートパワーオン：本機がスタンバイモードになっている状態で、RI接続されている機器の再生を始めると、自動的に本機の電源が入り、該当する機器が入力ソースに選ばれます。

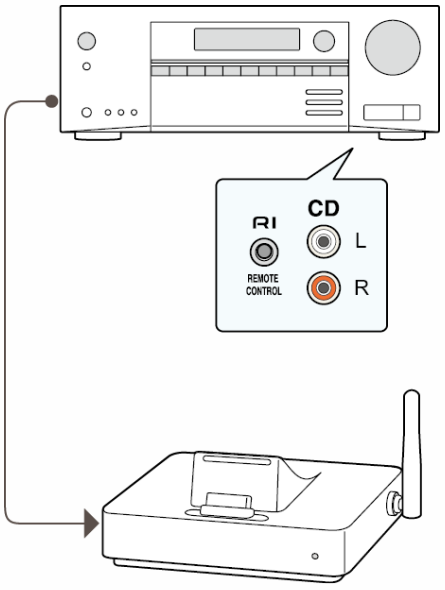
ダイレクトチェンジ：RI接続されている機器の再生が始まると、その機器が入力ソースに選ばれます。

リモコン操作：本機のリモコンを使って、RIに対応しているオンキヨー製機器を操作できます。リモコンを本体のリモコン受光部に向けて操作します。この操作にはRI専用リモコンコードの登録が必要です。

- 製品によっては、RI接続をしても、一部の機能が働かないことがあります。
- システム機能については、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

RI端子付きオンキヨー製品との接続・操作

RI接続と設定について



RI端子付き製品と本機をRIケーブルおよびオーディオ用ピンケーブルで接続します。詳細はRI端子付き製品の取扱説明書をご参照ください。なお、RIケーブルの接続は、順序の指定はありません。また、RI端子が２つある場合でも、2つの端子の働きは同じで、どちらにも接続できます。
RIドックやカセットテープデッキをRI接続する場合は、次の設定が必要です。

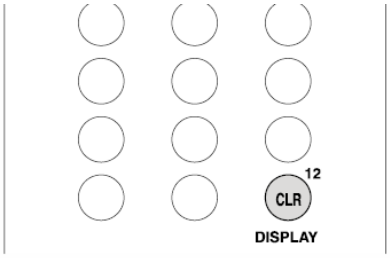
■ 入力切換の名前の変更

システム連動を動作させるために、本機の入力切換の名前を変更する必要があります。リモコンのRECEIVERボタンを押してRECEIVERモードにしてから、SETUPボタンを押してください。カーソルでSetupメニューの「4. 入力ソース」-「名前変更」-「名前」を選び、入力切換の名前を「DOCK」または「TAPE」に変更してください。

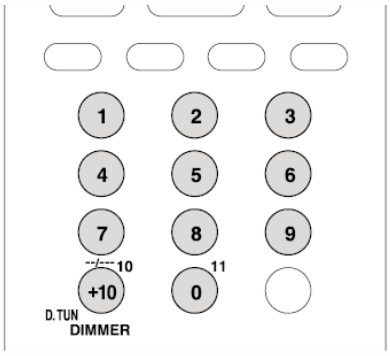
■ RI専用リモコンコードの登録

リモコンの任意のREMOTE MODEボタンにリモコンコードを登録します。
RI専用リモコンコードをリモコンに登録することにより、リモコンをその機器ではなく本体に向けて操作できます。

1. リモコンコードを登録したいREMOTE MODEボタンを押しながら、DISPLAYボタンを3秒以上押します。
   - リモートインジケーターが点灯します。



2. 30秒以内に、数字ボタンで以下のリモコンコード（5桁）を入力します。
   RIドック : 81993
   RI端子付きカセットテープデッキ : 42157
   - 登録が完了したら、リモートインジケーターが2回点滅します。正しく登録できなかった場合は、リモートインジケーターがゆっくりと1回点滅しますので、再度登録操作を行ってください。



RIドックの切換スイッチ : 「DOCK」または「TAPE」に切り換えてください。詳しくはRIドックの取扱説明書をご参照ください。

オンキヨー製機器に直接リモコンを向けて操作する場合や、RI接続していないオンキヨー製機器を操作する場合は、次のリモコンコードをお使いください。
オンキヨー製DVDプレーヤー : 30627
オンキヨー製CDプレーヤー : 71817
RIドック : 82990

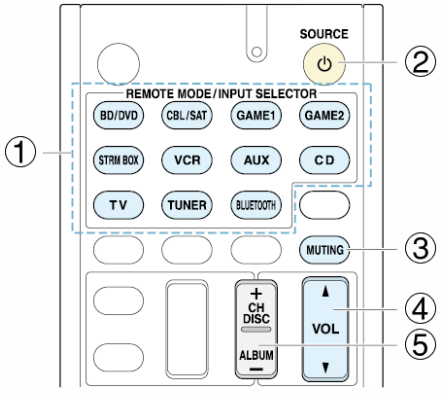
- 機種によっては、操作できなかったり一部の機能しか操作できない場合があります。

iPod®/iPhone®の操作

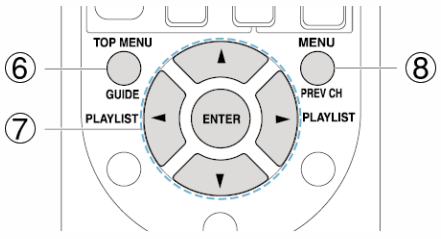
RIドックを使うと、iPod/iPhone内の音楽を本機のリモコンで操作・再生できます。また、テレビ画面でiPod/iPhone内の画像が楽しめたり、システム連動操作も可能です。この操作にはRI専用リモコンコードの登録が必要です。

操作を始める前に：必ずiPod/iPhoneのOSを最新バージョンに更新してください。iPod/iPhoneの機種や世代またはRIドックによっては、特定のボタンが機能しない場合があります。操作の詳細は、RIドックの取扱説明書をご参照ください。

リモコンコードを登録したREMOTE MODEボタンを押して、操作モードを切り換え、該当する操作ボタンを使用します。リモコンを本機に向けて操作してください。

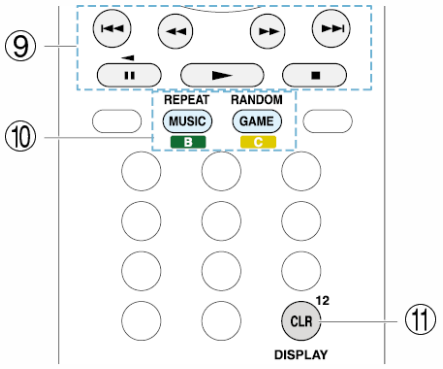


① REMOTE MODE
② ⏻SOURCE
③ MUTING
④ VOL ▲/▼
⑤ ALBUM ＋/－



⑥ TOP MENU
⑦ ▲/▼/◄/►、ENTER、PLAYLIST◄/►

⑧ MENU



⑨ ►、❚❚、■、◄◄、►►、⏮、⏭
⑩ REPEAT、RANDOM
⑪ DISPLAY
- DISPLAYボタンを押すと、バックライトが数秒間点灯します。

はじめにお読みください

トラブルは接続や設定、操作方法を見直す以外にも、電源のオン/オフ、電源コードの抜き差しで改善することがあります。本機や接続している機器の両方でお試しください。また、映像や音声が出ない、HDMI連動ができないなどの場合、接続しているHDMIケーブルの抜き差しを行うと改善することもあります。差し直す際は、HDMIケーブルが巻かれていると接触が悪くなりますので、なるべく巻かずに差し直してください。差し直したあとは、本機と接続している機器の電源を一度オフにし、再度電源を入れ直してください。

- 本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて、約5秒後にあらためて電源プラグを差し込んでください。
- 製品の故障により正常に録音・録画できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については補償対象になりません。大事な録音をするときは、あらかじめ正しく録音･録画できることを確認の上、録音･録画を行ってください。

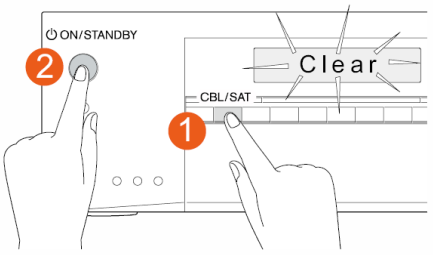
初期設定に戻す

本機をリセットして、すべての設定をお買い上げ時の状態に戻すことで、トラブルが解消されることがあります。「困ったときは」の各項目をお試しになっても改善されない場合、次の手順で本機をリセットしてみてください。なお、リセットを行うとお客様の設定内容が初期設定に戻ります。リセットの前に設定内容をメモなどに記録してください。

■ リセット方法

1. 本体のCBL/SATボタンを押しながら（必ず押した状態で2.の操作を行ってください）

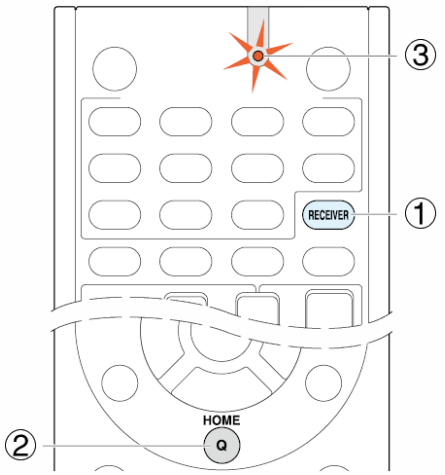
2. 本体のON/STANDBYボタンを押します。表示部に「Clear」が表示されてスタンバイ状態に戻ります。



■ リモコンのリセット方法

1. リモコンの① RECEIVERボタンを押しながら（必ず押した状態で2.の操作を行ってください）

2. ② Qボタンを③ リモートインジケーターが点灯するまで3秒以上押します。30秒以内に①RECEIVERボタンをもう一度押すとリセットされます。



電源

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、5秒以上待ってから、再度コンセントに差し込んでください。

本機の電源が切れる場合

- 自動スタンバイまたはスリープタイマーが作動すると、自動的にスタンバイ状態になります。
- 保護回路機能が作動した可能性があります。この場合、再度電源を入れると本体表示部に「AMP Diag Mode」と表示され、本機に異常がないかを診断するモードになります。その結果、問題がない場合は表示部の「AMP Diag Mode」が消えて正常にお使いいただける状態になります。表示部に「CHECK SP WIRE」と表示された場合は、スピーカーコードがショートしている可能性があります。スピーカーコードの芯線が別のスピーカーコードの芯線や後面パネルと接触していないかを確認し、再度電源を入れてください。「NG」と表示された場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、オンキヨーの販売店にお問い合わせください。

警告：煙が出ている、変なにおいがする、異様な音がするなど、少しでも異常を感じたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、販売店またはオンキヨー修理窓口にご連絡ください。

音声

- 接続した機器の出力端子と、本機の入力端子が正しく接続されているか確認してください。
- 接続ケーブルが、折れ曲がったり、ねじれたり、破損したりしていないことを確認してください。
- 表示部のMUTING表示が点滅している場合、リモコンのMUTINGボタンを押して消音（ミュート）を解除してください。
- ヘッドホンをPHONES端子に接続しているときは、スピーカーから音は出ません。
- 「音声信号選択」-「PCM固定モード」が「オン」になっている場合、「オフ」に設定してください。

以上を確認しても改善されない場合、以下を確認してください。

■ テレビの音が出ない
■ 接続した再生機器の音が出ない
■ 特定のスピーカーから音が出ない
■ フロントスピーカーからしか音が出ない
■ センタースピーカーからしか音が出ない
■ サラウンドスピーカーから音が出ない
■ センタースピーカーから音が出ない
■ サブウーファーから音が出ない
■ 音が小さい
■ ノイズが聴こえる
■ ヘッドホンを接続すると音が変わる
■ DTS信号について
■ HDMIに入力した音声の冒頭部分が聴こえない

テレビの音が出ない

- 本機の入力切換を、TVに切り換える必要があります。
- テレビがARC機能に対応していない場合は、HDMI OUT端子の接続に加えて、テレビの光デジタル音声出力端子と本機のテレビ用OPTICAL入力端子を光デジタルケーブルで接続するか、テレビの音声出力端子と本機のテレビ用アナログ音声入力端子をオーディオ用ピンケーブルで接続してください。

接続した再生機器の音が出ない

- 本機の入力切換を、再生機器と接続した端子のポジションに切り換える必要があります。
- 接続した機器でのデジタル音声出力の設定を確認してください。DVD対応のゲーム機など、機器によっては初期設定がオフになっていることがあります。
- 一部のDVD-Videoディスクでは、メニューから音声出力形式を選ぶ必要があります。

特定のスピーカーから音が出ない

- スピーカーコードの+/− は正しく接続されているか、むき出しの芯線部分がスピーカー端子の金属部分と接触していないか確認してください。
- スピーカーコードがショートしていないことを確認してください。
- スピーカーの設定が正しく行われていることを確認してください。

フロントスピーカーからしか音が出ない

- StereoまたはMonoのリスニングモードを選んでいる場合は、フロントスピーカーとサブウーファーからしか音が出ません。

センタースピーカーからしか音が出ない

- テレビやAM放送などモノラル音源を再生するときに、リスニングモードをDolby Pro Logic IIにすると、センタースピーカーに音が集中します。

サラウンドスピーカーから音が出ない

- リスニングモードがStereoやMono、T-D（Theater-Dimensional）のときは、サラウンドスピーカーから音が出ません。
- 入力信号やリスニングモードによっては、音が出にくい場合があります。ほかのリスニングモードを選んでみてください。

センタースピーカーから音が出ない

- リスニングモードがStereo、Monoのときは、センタースピーカーから音が出ません。

サブウーファーから音が出ない

- 入力信号にサブウーファー音声要素（LFE）が入っていない場合、サブウーファーから音が出ないことがあります。

音が小さい

- ボリューム位置を確認してください。本機は基本的にMin、1…79、Max（80）まで調整できます。一般のご家庭で40前後までボリュームを上げていても、正常な範囲です。

ノイズが聴こえる

- コード留めを使ってオーディオ用ピンケーブル、電源コード、スピーカーコードなどを束ねると音質が劣化するおそれがあります。コードを束ねないようにしてください。
- オーディオ用ピンケーブルが雑音を拾っている可能性があります。ケーブルの位置を変えてみてください。

ヘッドホンを接続すると音が変わる

- Direct、Mono以外のリスニングモードを選んでいる場合は、ヘッドホンを接続すると自動的にStereoになります。

DTS信号について

- DTS信号を再生しているときは、本機のdts表示が点灯します。プレーヤー側での一時停止やスキップ操作時に発生するノイズを防ぐため、再生が終了してもdts表示が点灯したままになります。このため、DTS信号から急にPCM信号に切り換わるタイプのソフトは、PCMがすぐに再生されない場合があります。このときはプレーヤー側で再生を約3秒以上中断し、再び再生を行うと正常に再生されます。
- 一部のCDまたはLDプレーヤーでは、本機とデジタル接続をしても正しくDTS再生ができない場合があります。出力されているDTS信号に何らかの処理（出力レベル調整、サンプリング周波数変換、周波数特性変換など）が行われていると、本機が正しいDTS信号とみなすことができず、ノイズを発生することがあります。
- DTS対応ディスクを再生しているときにプレーヤー側で一時停止やスキップなどの操作をすると、ごく短時間ノイズが発生する場合がありますが、これは故障ではありません。

HDMIに入力した音声の冒頭部分が聴こえない

- HDMI信号は、ほかの音声信号に比べて認識するのに時間がかかるため、音声がすぐに出力されない場合があります。

リスニングモード

- Dolby DigitalやDTS、AACの音声を聴くためには、デジタル接続が必要です。
- 接続した機器でのデジタル出力の設定を確認してください。DVD対応のゲーム機など、機器によっては初期設定でデジタル出力がオフになっていることがあります。
- リモコンのRECEIVERボタンを押してから、DISPLAYボタンをくり返し押すと、本体表示部が切り換わり、入力フォーマットを確認することができます。

以上を確認しても改善されない場合、以下を確認してください。

■ 希望するリスニングモードが選べない

希望するリスニングモードが選べない

- スピーカーの接続状況によっては選べないリスニングモードがあります。「選択できるリスニングモード」でご確認ください。

映像

- 接続した機器の出力端子と、本機の入力端子が正しく接続されているか確認ください。
- 接続ケーブルが、折れ曲がったり、ねじれたり、破損したりしていないことを確認してください。
- テレビなど、モニター側での入力画面の切り換えを確認してください。

以上を確認しても改善されない場合、以下を確認してください。

■ HDMI入力端子に接続した機器の映像が出ない
■ 映像がちらつく

HDMI入力端子に接続した機器の映像が出ない

- 本機の入力切換を、再生機器と接続した端子のポジションに切り換える必要があります。
- HDMI入力端子から入力した映像が出ないとき、本体表示部に「Resolution Error」と表示されていませんか？この場合テレビが、プレーヤーから入力した映像の解像度に対応していません。プレーヤー側で設定を変更してください。
- HDMI-DVIアダプターを使っている場合は、正常な動作は保証されません。また、PCから出力される映像信号についても保証されません。
- Deep Colorの機能をオフに切り換えてみてください。Deep Color機能をオフにするには、本体のSTRM BOXボタンとON/STANDBYボタンを同時に押してください。STRM BOXボタンを押しながら、表示部に「Deep Color:Off」が表示されるまでON/STANDBYボタンをくり返し押してください。Deep Color機能をオンするには、上記の手順で「Deep Color:On」が表示されるまでボタンを押してください。

映像がちらつく

- テレビの対応解像度が再生機器の出力解像度に適合していない可能性があります。再生機器と本機をHDMI 接続している場合は、再生機器側の出力解像度を変更してお試しください。また、テレビの画面モードを変更すると、改善される場合があります。

連動動作

テレビなどのCEC対応機器とのHDMI連動動作が働かない

- 本機のHDMI CEC (RIHD)設定をオンにする必要があります。リモコンのRECEIVERボタンを押したあとに、SETUPボタンを押し、「5. ハードウェア」-「HDMI」-「HDMI CEC (RIHD)」を選んでオンに設定してください。
- CEC対応機器側もHDMI連動の設定が必要です。取扱説明書でご確認ください。

RI連動機能が働かない

- RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンケーブルも正しく接続してください。

AM/FM放送に関して

■ 放送に雑音が入る/FMステレオ放送の時、サーというノイズが多い/FM放送で「FM STEREO」表示が完全に点灯しない

- アンテナの接続をもう一度確認してください。
- アンテナをスピーカーコードや電源コードから離してください。
- テレビやコンピューターから離してください。
- 近くに自動車が走っていたり飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。
- 電波がコンクリートの壁等で遮断されていると放送が受信しにくくなります。
- モノラル受信に変更してみてください。
- AM受信時リモコンを操作すると雑音が入る場合があります。

Bluetooth

- 本機の電源抜き差しや、Bluetooth対応機器の電源オン/オフなどをお試しください。Bluetooth対応機器の再起動が効果的な場合もあります。
- Bluetooth対応機器がA2DPプロファイルに対応している必要があります。
- 電子レンジ、コードレス電話機など2.4 GHz帯の電波を使用する機器の近くでは電波干渉を起こしますので使用できないことがあります。
- 周囲に金属製の物があると、電波に影響を及ぼし、Bluetoothの接続ができない場合があります。

以上を確認しても改善されない場合、以下を確認してください。

■ 本機に接続できない
■ Bluetooth接続しているのに音楽の再生ができない
■ 音声が途切れる
■ Bluetooth対応機器との接続後、音質が低下した
■ 「自動接続」機能が働かない

本機に接続できない

- Bluetooth対応機器のBluetooth機能が有効になっていません。Bluetooth機能を有効にする方法については、Bluetooth対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- 最初にBluetooth接続を確立する際に接続に失敗する場合は、「5. ハードウェア」-「Bluetooth」の「ペアリング情報」の設定で「削除」の操作を行い、ご使用の機器の電源を入れ直して機器名をクリアしてから、再度Bluetooth接続を確立してください。

Bluetooth接続しているのに音楽の再生ができない

- Bluetooth対応機器のボリューム設定が小さいと、音声が再生されないことがあります。Bluetooth対応機器のボリューム設定を大きくしてください。
- Bluetooth対応機器によっては、送信/受信切換スイッチが搭載されている場合があります。送信に切り換えてお試しください。
- Bluetooth対応機器の特性や仕様によっては、本機で音楽を再生できない場合があります。

音声が途切れる

- Bluetooth対応機器に問題が発生している可能性があります。ホームページなどで情報を調べてみてください。

Bluetooth対応機器との接続後、音質が低下した

- 受信状態がよくありません。Bluetooth対応機器を本機に近づける、またはBluetooth対応機器と本機の間にある障害物を取り除いてください。

「自動接続」機能が働かない

- ご使用のBluetooth対応機器によっては、この機能が働かないことがあります。その場合は、本機とBluetooth対応機器とのペアリング操作を行ってから再生してください。

リモコン

- 電池の極性を間違えて挿入していないか確認してください。
- 新しい電池を入れてください。種類が異なる電池、新しい電池と古い電池を一緒に使用しないでください。
- リモコンと本機が離れ過ぎていないこと、リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がないことを確認してください。
- 本体の受光部が直射日光やインバータータイプの蛍光灯の光に当たらないようにしてください。必要に応じて位置を変えてください。
- 本体を色付きのガラス扉が付いたラックやキャビネットに設置したり、扉が閉じているとリモコンが正常に機能しないことがあります。

以上を確認しても改善されない場合、以下を確認してください。

■ リモコン操作ができない
■ RI専用リモコンコードを使ったオンキヨー製他機器の操作ができない
■ オンキヨー製機器（RI連動なし）や他メーカー機器の操作ができない

リモコン操作ができない

- リモコンで本機を操作する場合は、最初に必ずRECEIVERボタンを押してください。

RI専用リモコンコードを使ったオンキヨー製他機器の操作ができない

- オンキヨー製他機器とRIケーブルが正しく接続されているか確認してください。RIケーブルを接続している場合、オーディオ用ピンケーブルも接続してください。（RIケーブルだけでは正しく連動しません）
- 適切なリモートモードが選ばれていることを確認してください。
- RI専用リモコンコードを入力したときは、リモコンを本体のリモコン受光部に向けてください。
- 入力表示が正しく設定されているか確認してください。
- もう一度、RI専用リモコンコードを入力し直してください。

オンキヨー製機器（RI連動なし）や他メーカー機器の操作ができない

- リモコンをそれぞれの機器の受光部に向けて操作してください。
- リモコンを使って他社製のAV機器を操作する場合は、一部のボタンが正しく動作しないことがあります。また、製品によっては動作しない場合もあります。
- 適切なリモートモードが選ばれていることを確認してください。
- 適切なリモコンコードが入力されていることを確認してください。
- 本体とリモコンに同じリモコンIDを設定してください。
- もう一度リモコンコードを入力してください。複数のコードがある場合は、他のコードも試してください。

表示部、オンスクリーンディスプレイ

表示部が点灯しない

- Dimmer機能が働いていませんか？DIMMERボタンを押して、表示部の明るさを変えてください。

設定画面表示が出ない/操作内容が画面に表示されない

- ご使用のテレビなど、モニター側の設定を確認してください。
- 「TV出力」の「インポーズOSD」を「オン」に設定してください。
- 入力切換が「BLUETOOTH」のときはテレビ画面に表示が出ません。本体表示部で確認しながら操作してください。本体表示部にはBluetooth対応機器名が表示されますが、日本語の表示には対応しておりません。表示できない文字はアスタリスク（＊）に置き換わります。

RIドック

- 本機の電源が入っているか、適切な入力が選ばれているか、音量が小さくなっていないか確認してください。
- 接続コードやケーブルのプラグは奥まで差し込んでいるか確認してください。
- iPod/iPhoneがドックにしっかり接続されているか確認してください。iPod/iPhoneをケースなどに入れている場合は、完全に接続できないことがありますので、必ずケースをはずして接続してください。また、一度iPod/iPhoneをドックから抜き、再度接続してみてください。
- iPod/iPhoneが再生していることを確認してください。

以上を確認しても改善されない場合、以下を確認してください。

■ 音が出ない
■ 映像が出ない
■ iPod/iPhoneが本機のリモコンで操作できない
■ 本機の入力が勝手に切り換わる

困ったときは

音が出ない

- 一度iPod/iPhoneをリセットしてみてください。

映像が出ない

- 本機またはテレビで適切な入力が選ばれているか確認してください。
- iPod/iPhoneのテレビ出力設定が有効に設定されているか確認してください。
- iPod/iPhoneの機種・世代によっては、映像は出力されません。

iPod/iPhoneが本機のリモコンで操作できない

- iPod/iPhoneの表示部にAppleロゴが表示されている間は操作できません。
- 適切なリモートモードが選ばれていることを確認してください。
- 本機のリモコンで操作する場合、リモコンは本機に向けて操作してください。
- リモコン操作をする前に、iPod/iPhone本体で再生させて入力切換を認識させる必要のある場合があります。
- iPod/iPhoneの機種・世代によっては、特定のボタンが意図したとおりに機能しない場合もあります。
- 一度iPod/iPhoneをリセットしてみてください。

本機の入力が勝手に切り換わる

- iPod/iPhoneの再生を一時停止しておいてください。iPod/iPhone再生検出機能により、再生曲が切り換わったときなどに、本機の入力が切り換わってしまいます。

その他

本体から異音が聞こえる

- 本機と同系統のコンセントに他の機器を接続している場合、その機器の影響を受けて異音が発生する場合があります。他の機器の電源プラグをコンセントから抜いて症状が改善される場合は、本機とその機器を別系統のコンセントに接続してください。

レイトナイト機能が働かない

- 再生ソースがDolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHDのいずれかになっているか確認してください。

シネマフィルター機能が働かない

- この機能が使用できるリスニングモードは、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby PLII Movie、Dolby TrueHD、Multichannel、DTS、DTS Neo:6 Cinema、DTS 96/24、DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master Audio、DTS Express、DSD、AACです。

多重音声の言語を切り換えたい

- 「3. 音の設定・調整」-「多重音声/モノラル」の「多重音声入力チャンネル」の設定で「主」または「副」を選びます。

待機時消費電力について

- 次の場合は、待機時消費電力が最大25 Wになる場合があります。
  - 「HDMI CEC (RIHD)」設定が「オン」のとき（ただし、テレビの状態により通常の待機時消費電力モードになります）
  - 「HDMIスタンバイスルー」設定を「オフ」以外に設定しているとき
  - 「スタンバイ時のSTRM BOXへの電源供給」の設定が「オン」のとき

CEC対応機器との連動動作について

HDMI規格のCECに準拠している製品と連動します。
すべてのCEC機器との連動動作を保証するものではありません。

当社が動作確認している機器（2015年2月現在）：
テレビ（順不同）
- パナソニック製のビエラリンク対応テレビ
- 東芝製のレグザリンク対応テレビ
- 日立製のWooooリンク対応テレビ
- ソニー製のブラビアリンク対応テレビ
- シャープ製のAQUOSファミリンク対応テレビ

プレーヤー、レコーダー（順不同）：
- オンキヨー製、インテグラ製のRIHD対応プレーヤー
- パナソニック製のビエラリンク対応プレーヤー、レコーダー（パナソニック製のビエラリンク対応テレビと合わせてお使いの場合のみ）
- 東芝製のレグザリンク対応プレーヤー、レコーダー（東芝製のレグザリンク対応テレビと合わせてお使いの場合のみ）
- シャープ製のAQUOSファミリンク対応プレーヤー、レコーダー（シャープ製のテレビと合わせてお使いの場合のみ）

ご注意：連動機能が適切に働くように、HDMI端子には以下の台数より多くのRIHD対応機器を接続しないでください。以下より多く接続されている場合には、連動機能は保証いたしかねます。また、本機にHDMIを介して他のAVレシーバーを接続しないでください。
- ブルーレイディスク/DVDプレーヤー：最大3台
- ブルーレイディスク/DVDレコーダー：最大3台
- ケーブルテレビチューナー、地上デジタルチューナー、衛星放送チューナー：最大4台

HDMI連動動作の設定が有効かを確認するには

1. すべての接続機器の電源を入れます。
2. テレビの電源を切り、リンク動作によって接続機器の電源が自動で切れることを確認します。
3. ブルーレイディスク/DVDプレーヤー/レコーダーの電源を入れます。
4. ブルーレイディスク/DVDプレーヤー/レコーダーを再生して、以下のことを確認します。
   - 本機の電源が自動で入り、ブルーレイディスク/DVDプレーヤー/レコーダーを接続している入力が選ばれる。
   - テレビの電源が自動で入り、本機を接続している入力が選ばれる。
5. お使いのテレビの取扱説明書をご覧になりながら、テレビのメニュー画面から「テレビのスピーカーの使用」を選び、テレビのスピーカーから音が出て本機に接続したスピーカーから音が出ないことを確認します。
6. テレビのメニュー画面から、「本機に接続したスピーカーの使用」を選び、本機に接続したスピーカーから音が出てテレビのスピーカーから音が出ないことを確認します。

ご注意：

- テレビのスピーカーから音を出す操作をしても、本機の音量調整や入力の切り換え操作をすると、本機に接続したスピーカーから音が出るようになります。テレビから音を出したいときは、もう一度テレビの操作をやり直してください。
- RIやRI EX対応機器と接続してご使用の場合で動作がうまくいかないときは、RIケーブルを外して操作してみてください。
- テレビの入力を、本機が接続されたHDMI端子以外を選ぶと、本機の入力は「TV」に切り換わります。
- 本機は、必要と判断したとき、連動して自動的にパワーオンします。RIHD対応テレビやプレーヤー・レコーダーと接続してお使いの場合でも、必要ないときは本機はパワーオンしません。テレビ側の設定で、音声をテレビから出力するように設定していると、連動してパワーオンしないことがあります。
- 組み合わせる機器により、本機との連動動作が働かない場合があります。この場合は、本機を直接操作してください。
- 本機のリモコンでプレーヤー/レコーダーの操作ができないときは、その機器がCECのリモコン操作に対応していないことが考えられます。リモコンにその機器のメーカーのリモコンコードを登録してご使用ください。

HDMIについて

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）は、テレビ、プロジェクター、ブルーレイディスク/DVDプレーヤー、デジタルチューナーなどの映像機器の接続に対応したデジタルインターフェース規格です。これまで、映像機器を接続するには、さまざまな映像・音声ケーブルが個別に必要でした。HDMIでは、1本のケーブルで、制御信号、デジタル映像、デジタル音声（2チャンネルPCM、マルチチャンネルデジタル音声、マルチチャンネルPCM）を伝送できます。
HDMIのビデオストリーム（映像信号）は、DVI（Digital Visual Interface）(＊1)規格と互換性があるため、HDMI-DVI変換アダプターを使って、DVI入力を備えたテレビやモニターを接続できます。（テレビやモニターによってはこの機能が働かず、映像が出ない場合もあります。）
本機はHDCP（High-bandwidth Digital Contents Protection）(＊2)に対応しているため、HDCPに対応した映像機器のみ映像を表示できます。
本機のHDMIは以下の機能に対応しています。
オーディオリターンチャンネル、3D、x.v.Color、Deep Color、LipSync、4K（Passthrough）

本機の対応音声フォーマット：

- 2チャンネルリニアPCM（32～192 kHz、16/20/24 bit）
- マルチチャンネルリニアPCM（最大7.1チャンネル、32～192 kHz、16/20/24 bit）
- ビットストリーム（Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS、DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master Audio）
- DSD

お使いのブルーレイディスク/DVDプレーヤーも上記の音声フォーマットのHDMI出力に対応している必要があります。

著作権の保護について：
本機のHDMI端子はデジタル映像信号の著作権保護技術であるHDCP(High-bandwidth Digital Content Protection)（＊2）のRevision1.4および2.2規格に準拠しています。本機と接続する機器もHDCP規格に準拠している必要があります。

＊1　DVI（Digital Visual Interface）：DDWG(＊3)が、1999年に策定したデジタルディスプレイ・インターフェース規格。

＊2　HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）：Intelが開発したHDMI/DVI用の映像向けの暗号化処理方式。映像コンテンツ保護を目的にしており、暗号化された信号を受信するには、HDCP準拠のHDMI/DVIレシーバーが必要です。

＊3　DDWG（Digital Display Working Group）：Intel、Silicon Image、Compaq Computer、富士通、Hewlett-Packardなどが中心となって運営する、ディスプレイのデジタルインターフェースの標準化を推進する団体。

ご注意：

- HDCP Rev. 2.2に準拠した機器のみが視聴可能なコンテンツがあります。このようなコンテンツを視聴するためにはHDCP Rev. 2.2規格に準拠したテレビおよびプレーヤー機器を本機のHDMI端子に接続してください。
- HDMIのビデオストリーム（映像信号）は、DVI（Digital Visual Interface）と互換性があるため、HDMI-DVI変換アダプターを使って、DVI入力を備えたテレビやモニターを接続できます。（DVI接続では映像信号しか伝送されないため、別途音声接続を行う必要があります。）しかし、このようなアダプターを利用した場合の正常な動作は保証されていません。また、PCから出力される映像信号についても保証されません。
- HDMIの音声信号（サンプリングレート、ビット長など）は、接続した機器によって制限を受ける場合があります。HDMI接続した機器の映像の品質がよくない場合や音声が出ない場合は、機器側の設定を確認してください。詳細については、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

リモコンコード一覧

衛星放送チューナー/ケーブルテレビチューナー/地上デジタルチューナー

ブランド名	コード番号
イッツコム（iTSCOM）	02703
スターキャット（Starcat）	02703, 01782
パイオニア	01782, 03925, 02700
パナソニック	02703, 02752, 01760, 03474
ひかりTV	03237
ひまわりてれび	01760
ヒューマックス	02701, 02715, 03051, 03053
三菱電機	03274
CC9ケーブルテレビ	02703, 02752, 03474
CTS（ケーブルテレビ佐伯）	02703, 03474
FCTV（福井ケーブルテレビ）	01782, 02703
J:COM	01760, 02703, 03925, 01782, 02701, 02700, 02715, 02752, 03051, 03053
JCN North（J:COM東京北）	02703, 01760, 03474
KCN-TV（J:COM熊本）	02703
KCT（倉敷ケーブルテレビ）	01760, 02703, 02752, 03474
NTT（NTTぷらら）	03237, 03274
Shimanto CATV（四万十町ケーブルネットワーク）	02752
SKY PerfecTV!（スカパー！）	02616
TCN（東京ケーブルネットワーク）	02703
U・CAT・V（ユー・キャット・ブイ）	02703, 01760
YCV（横浜ケーブル	02703, 01760

ビジョン）

CDプレーヤー

ブランド名	コード番号
インテグラ	71817
オンキヨー	71817
ソニー	70000, 70490
タスカム	73511
テクニクス	70029, 70303
デノン	70766
パイオニア	70032
ビクター/JVC	70072
フィリップス	70157
マランツ	70157
ヤマハ	70036

カセットデッキ

ブランド名	コード番号
オンキヨー	42157
ケンウッド	40070
ソニー	40170, 40243
テクニクス	40229
デノン	40076
パナソニック	40229
ビクター/JVC	40244

アクセサリ

ブランド名	コード番号
オンキヨー	81993, 82990

ビデオアクセサリ

ブランド名	コード番号
ポップコーンアワー	02260
マイクロソフト	01805, 01272
Xbox	01805

レシーバー

ブランド名	コード番号
インテグラ	52503
オンキヨー	52503

テレビ

ブランド名	コード番号
エプソン/ セイコーエプソン	11379
オーディオテクニカ	11150
サムスン	12051
サンヨー	11974
シャープ	11393, 10818, 11165, 12360
ソニー	12778, 10810, 11150, 10000, 11167, 11651
東芝	13570, 11524, 11169
パイオニア	11457, 12171
バイ・デザイン	12209
パナソニック	12170, 11636, 13825
ビクター/JVC	11428, 11150, 10653
日立	11691, 12170, 10178, 11150
フィリップス	10037, 12372
富士通ゼネラル	10809
フナイ	10171, 13817
三菱	12313, 11150, 10178, 11171
ユニデン	12122
DXアンテナ	13817
LG	12731, 11840, 11860, 12362
Remotec	10037, 10171
Visio	11758, 12209
Wyse	11365

DVDプレーヤー

ブランド名	コード番号
インテグラ	32147, 30627, 31769, 30503, 31612, 30571, 31634
オンキヨー	30627, 31612
サムスン	30199, 33195
シャープ	30630, 30675, 32250
ソニー	31516, 32180, 30533, 31633, 31033, 31070
デノン	31634, 32258, 30490, 32748, 33851
東芝	32551, 30503, 31769, 32705
パイオニア	31571, 30631, 32854, 30142, 30571

バイ・デザイン	30872
パナソニック	30490, 32523, 31579, 31641, 33641, 33862
ビクター/JVC	30623
日立	31664
フィリップス	30646, 30539
フナイ	30675
マイクロソフト	31708, 32083
マランツ	32414, 33444
三菱	34004
ヤマハ	30490
Dewo	31634
Elite	32854
Emerson	30675
LG	31602
Sylvania	30675
Xbox	31708, 32083, 30522

■ ブルーレイディスクプレーヤー

ブランド名	コード番号
サムスン	33195
シャープ	30630
ソニー	31516, 32180
東芝	32551, 32705
パイオニア	32854
パナソニック	32523
三菱	34004
Elite	32854
LG	31602
Sylvania	30675

■ DVDレコーダー

ブランド名	コード番号
サムスン	33195
シャープ	30675
ソニー	31516
デノン	30490
パイオニア	30631
パナソニック	30490, 32523, 31579
ビクター/JVC	30623

日立	31664
フィリップス	30646, 30539
フナイ	30675
Emerson	30675

- 製品によっては動作しないボタンがあります。また、製品を操作できない場合もあります。

SN 29402023HTML_JA
(C) Copyright 2015 Onkyo Corporation Japan. All rights reserved.